

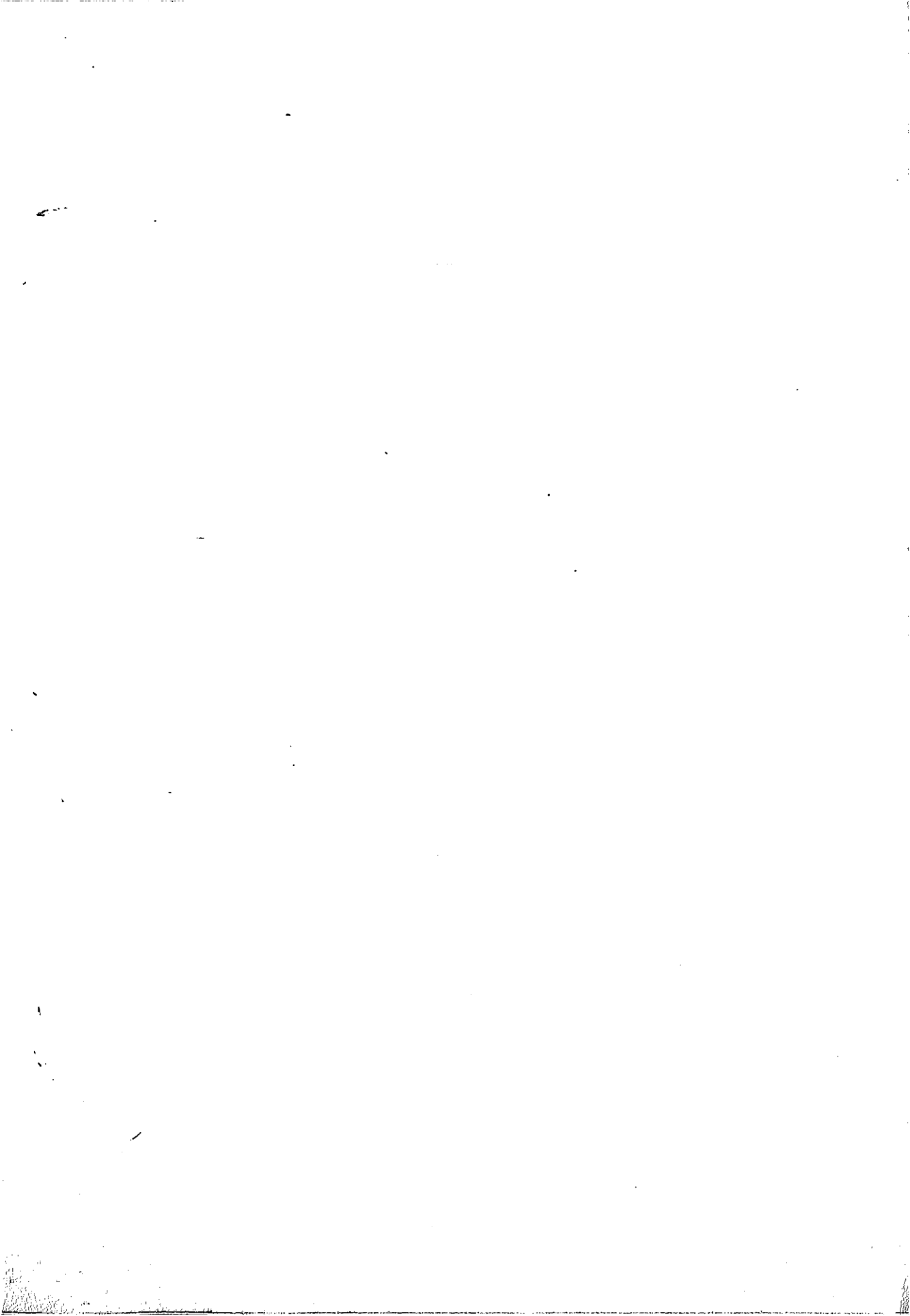
モーターボート競走公益資金による
助日本船舶振興会の補助事業

標準非木造住宅の再建築費等に関する調査研究

—主要都市における建築費に係る地域差指数—

昭和62年3月

財団法人 資産評価システム研究センター



は し が き

財団法人資産評価システム研究センターは、主として地域の資産に関する調査研究の実施を目的として、昭和53年5月発足しました。

当評価センターにおける調査研究は、資産評価の基礎理論及び地方公共団体における資産評価技法の両面にわたって、毎年度、学識経験者並びに自治省、地方公共団体等の関係者をもって構成する資産評価システム、土地、家屋及び償却資産の各部門ごとの研究委員会において行われ、その成果は、直接、会員である地方公共団体等に配付のうえ、その活用を期待するとともに、当評価センターの実施する研究会、資料・情報の発行等、会員に対する便益提供のための各種事業の基盤ともなってきたところであります。

ここに、昭和61年度における調査研究の成果をとりまとめ公表することになりましたが、この機会に、熱心にご研究、ご審議をいただいた研究委員各位並びに実地調査に当たって種々ご協力を賜った地方公共団体関係者各位に心から感謝申しあげる次第であります。

なお、当評価センターは、今後とも所期の目的にそって、事業内容の充実のためさらに努力を傾注する所存であります。地方公共団体をはじめ関係団体の皆様の一層のご指導、ご援助をお願い申しあげる次第であります。

最後に、この調査研究事業は、モーターボート競走公益資金による財団法人日本船舶振興会の補助金の交付を受けて実施したものであり、改めて深く感謝の意を表するものであります。

昭和62年3月

財団法人 資産評価システム研究センター
理事長 山下 稔

数据库系统是指由数据库、数据库管理系统、数据库应用程序、数据库用户、数据库管理员、数据库系统运行环境等组成的一个完整的系统。数据库系统是数据库管理系统的核心，它负责数据的组织、存储、检索、更新和维护。数据库管理系统是数据库系统的核心，它负责数据库的创建、维护、控制、安全和性能优化。数据库应用程序是数据库系统的上层应用，它通过数据库管理系统与数据库进行交互。数据库用户是数据库系统的最终使用者，他们通过数据库应用程序或数据库管理系统与数据库进行交互。数据库管理员是数据库系统的管理者，他们负责数据库的日常维护、备份、恢复、安全和性能优化。数据库系统运行环境是数据库系统运行的基础，它包括操作系统、硬件、网络等。

数据库系统的发展经历了从文件系统到数据库系统、从单一数据库到分布式数据库、从集中式数据库到云数据库的演变。数据库系统的核心是数据，数据是数据库系统的灵魂。数据库系统的核心是数据，数据是数据库系统的灵魂。数据库系统的核心是数据，数据是数据库系统的灵魂。数据库系统的核心是数据，数据是数据库系统的灵魂。

数据库系统是数据库管理系统的核心，它负责数据的组织、存储、检索、更新和维护。数据库管理系统是数据库系统的核心，它负责数据库的创建、维护、控制、安全和性能优化。

研 究 組 織

家屋研究委員会

- | | | |
|-------|---------|----------------------------------|
| (委員長) | 松 下 清 夫 | 東京大学名誉教授 |
| (委員) | 加 藤 裕 久 | 小山工業高等専門学校助教授 |
| | 宍 道 恒 信 | 宍道建築設計事務所長 |
| | 西 沢 博 | 電気通信共済会建築部調査役 |
| | 上 杉 啓 | 東洋大学教授 |
| | 吉 田 倬 郎 | 工学院大学助教授 |
| | 黒 田 隆 | (財)建設物価調査会技術顧問 |
| | 斎 藤 順 男 | 清水建設(株)設備部長 |
| | 関 根 繁 夫 | オークビルサービス(株)業務部次長 |
| | 長 畑 明 芳 | 住宅金融公庫建設指導部次長 |
| | 志 村 哲 也 | 自治省税務局府県税課長 |
| | 佐 野 徹 治 | 自治省税務局固定資産税課長 |
| | 小 野 二 夫 | 自治省税務局固定資産税課固定資産鑑定官 |
| | 吉 田 隆 一 | (財)資産評価システム研究センター事務局長兼調
査研究部長 |
| (専門員) | 中 村 秀 文 | 自治省税務局固定資産税課家屋第1係長 |
| | 市 瀬 惟 義 | (財)資産評価システム研究センター主任研究員 |

The following table shows the results of the survey conducted in the year 2000. The data is presented in two columns: the first column lists the different categories of respondents, and the second column shows the percentage of respondents in each category. The total number of respondents is 1000.

Category	Percentage
Male	55%
Female	45%
Age Group 18-25	20%
Age Group 26-35	30%
Age Group 36-45	25%
Age Group 46-55	15%
Age Group 56-65	10%
Age Group 66+	15%
Education Level: High School	35%
Education Level: Bachelor's	45%
Education Level: Master's	10%
Education Level: Doctorate	5%
Occupation: Student	15%
Occupation: Professional	30%
Occupation: Manager	20%
Occupation: Self-employed	10%
Occupation: Unemployed	10%
Occupation: Retired	10%

目 次

I	調査研究の目的等	1
1	目 的	1
2	調査方法	1
(1)	意 義	1
(2)	調査対象家屋	2
(3)	調査項目	2
(4)	調査の方法	2
3	調査結果の集計	2
(1)	とりまとめ方	2
(2)	凡 例	2
II	調査結果の概要	5
1	調査対象家屋の概況	5
2	共同住宅（RC造）に係る建築価額等の調査	5
(1)	建築価額等の状況	5
(2)	建築価額等の地域差	8
(3)	建築価額及び修正建築価額の段階区分別構成比	14
(4)	評点水準の状況	17
3	部分別の施工状況等の調査	18
(1)	再建築費評点数の部分別構成比	18
4	主要資材に係る価格の状況調査	21
5	施工会社及び販売形態の状況調査	24
III	計数資料等	26
(1)	別表1 共同住宅（RC造）に係る建築価額等の状況	26
(2)	別表2 共同住宅（RC造）に係る部分別構成比の状況	27
(3)	別表3 共同住宅（RC造）に係る部分別評点数の状況	28
	附表1 主体構造部及び基礎に係る施工量等の状況	30
	附表2 建築設備に係る部分別評点数と設備内容	31
(4)	別表4 共同住宅（RC造）に係る施工会社及び販売形態の状況	35

(5) 別表 5 主要資材価格の都市別状況	36
(6) 別図 1 共同住宅（RC造）に係る建築価額等の都市別比較	37
(7) 調査対象都市別の部分別仕上げ資材等一覧	38
IV 参考資料	66
(1) 主要建築資材の卸売物価指数	66
(2) 都道府県別共同住宅（RC造）建物の工事予定単価	68

I 調査研究の目的等

1 目的

再建築価格は、家屋の価格の構成要素として基本的なものであり、その評価の方式化も比較的容易であるため、地方税(固定資産税及び不動産取得税)における家屋の評価においても再建築価格を基準とする評価方法が採用されているところである。

当センターでは専ら地方公共団体における評価実務の参考に供するため昭和60年度から非木造の共同住宅(鉄筋コンクリート造)を対象として全国主要都市における建築費の実態、建築費と再建築価格を基準とした評価額との相関関係等について調査研究を行ってきたところであり、昭和61年度においても昨年度に引き続き同様の調査研究を行なうこととしたものである。

なお、この調査研究の主な目的は次のとおりである。

- ① 全国主要都市における標準的な共同住宅(RC造)の建築価額を把握すること。
- ② 標準的な共同住宅(RC造)の構造、様式、形状、規模、使用資材及びその施工の状況を把握するとともに、その地域差を明らかにすること。
- ③ 標準的な共同住宅(RC造)に係る建築価額とその主要構成部分割合について、全国主要都市間の地域差の状況を把握すること。

2 調査方法

この調査は原則として昭和60年中に建築された共同住宅(RC造)で、その様式、規模及び形状が中庸である家屋を、各調査対象都市から各1棟抽出し、調査・分析することにより、地域差等を統計的に推定しようとするものである。また、調査対象家屋が各都道府県ごとに1棟と極めて少数であるが、これは調査対象都市の固定資産(家屋)評価担当職員に依頼して、各都市に建築された同程度の家屋について調査しているので、建築価額等についてほぼ正確な状況を把握することができたものとする。

(1) 調査対象家屋

- ① 用途・構造 鉄筋コンクリート造共同住宅(昭和60年中に新築されたもので、パネル式工法以外のもの)
- ② 選定棟数 原則として都道府県庁所在都市ごとに1棟(総数47棟)
- ③ 程度・規模 3~5階建(地階のないものに限る。)で住戸数が30戸程度のもの。ただし、その様式、規模及び形状が中庸

なもの。

(2) 調査項目

ア 調査対象家屋に係るもの

- ① 建築価額
- ② 構造、様式、形状及び使用資材別施工量
- ③ 再建築費評点数の算出根拠（部分別内訳）
- ④ 施工会社及び販売形態

イ その他

その他建築費に関する必要事項

(3) 調査の方法

- ① 調査対象家屋の所在する都市の固定資産評価担当職員に対するアンケート調査（４７棟）
- ② 上記のうち家屋研究委員会委員による実地調査
（本年度対象都市 秋田市、奈良市、津市、高松市及び北九州市）

3 調査結果の集計

(1) とりまとめ方

この研究成果は調査対象都市の固定資産評価担当職員に対するアンケート調査に基づいて、家屋研究委員会の委員が適宜実地調査を行ない、さらに報告された各データについて精査、調整の上、整理集計するとともに若干の分析を加えて取りまとめた。

(2) 凡 例

収録事項の主な用語の定義等は次のとおりである。

○建築価額 所有者が建築業者に支払った建築費（諸経費を含む）で家屋評価の対象部分に相当する延べ床面積 1 m^2 当たりの価額

○修正建築価額 「建築価額」については、調査対象家屋の品等及び施工の程度が各調査対象都市間において一定していないためその程度差が価額面に表われるという要因が含まれているが、各家屋についてその要因を取り除き、東京都（特別区）を基準にして求めた延べ床面積 1 m^2 当

たりの理論建築価額

具体的には、家屋の再建築費評点数の差は家屋の品等及び施工の程度差がその原因と考えられるので、各調査対象家屋について、東京都（特別区）の家屋の再建築費評点数を基準（100）とした場合の指数を求め、この指数をもって当該家屋の「建築価額」を東京都（特別区）の基準へ修正することにより求めた。

○再建築費評点数 延べ床面積 1 m² 当たりの再建築費評点数

○再建築価額 「再建築費評点数」に固定資産評価基準に定める再建築費評点補正率及び評点 1 点当たり価額を乗じた延べ床面積 1 m² 当たりの評点額

○平均 注記していない限り算術平均とした。

○標準偏差 標準偏差 (s) =
$$\sqrt{\frac{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2}{n}}$$

○データの範囲 データの範囲 (R) = 最大値 (最高) - 最小値 (最低)

○評価水準 (%) 評価水準 =
$$\frac{\text{「再建築価額」}}{\text{「建築価額」}} \times 100$$

○評点水準 (%) 評点水準 =
$$\frac{\text{「再建築費評点数」}}{\text{「建築価額」}} \times 100$$

- 北海道地域 札幌市
- 東北地域 青森市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市及び福島市
- 南関東地域 水戸市、宇都宮市及び前橋市
- 北関東地域 浦和市、千葉市、東京都（特別区）及び横浜市
- 北陸地域 新潟市、富山市、金沢市及び福井市
- 中部地域 甲府市、長野市及び岐阜市
- 中京地域 静岡市、名古屋市及び津市
- 北近畿地域 大津市、京都市及び奈良市
- 南近畿地域 大阪市、神戸市及び和歌山市
- 山陰地域 島取市及び松江市
- 山陽地域 岡山市、広島市及び山口市
- 四国地域 徳島市、高松市、松山市及び高知市
- 北九州地域 北九州市、佐賀市及び長崎市
- 南九州地域 熊本市、大分市、宮崎市、鹿児島市及び那覇市

II 調査結果の概要

1 調査対象家屋の概況

昭和61年度の調査において、各都市から調査対象家屋として選定された家屋の階数、住戸数、延べ床面積等は表1のとおりである。階数は3～5階建を指定したが、調査対象都市に該当する家屋がないため、6階建、7階建のものが各1棟あった。また、住戸数についても30戸程度のもを予定していたところ、同様な理由により、20戸未満のものが14棟、40戸以上のものが5棟あった。1住戸当たり延べ床面積については特に指定はせず、図3で示されているようにばらつきがあったが、昭和60年度の1住戸当たり延べ床面積の標準偏差は13.0であったので、昨年度よりは偏差は縮小している。

表1 調査対象家屋の状況

区 分	最 高	最 低	平 均	標準偏差
階 数 (階)	7	3	4.2	0.8
住 戸 数 (戸)	154	9	27.3	20.6
延べ床面積 (m^2)	12,588	551	1,811	1,713.1
1住戸当たり 延べ床面積 ($m^2/戸$)	92	40	65.0	11.8

- 注1. 延べ床面積は小数第1位を、その他については小数第2位をそれぞれ四捨五入。
 2. 延べ床面積は、建物内の階段等の共有部分に係る面積を含む。

なお、調査対象家屋における階数、戸数、及び1住戸当たり延べ床面積の段階区分別の状況を示したのが図1、2及び3である。

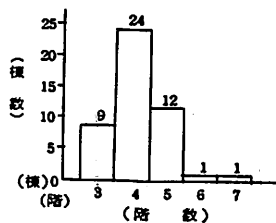


図1 階数の段階区分別状況

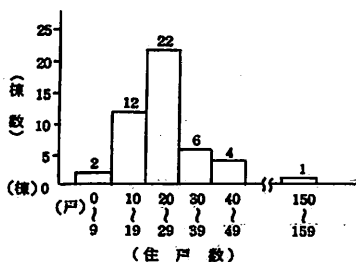


図2 住戸数の段階区分別状況

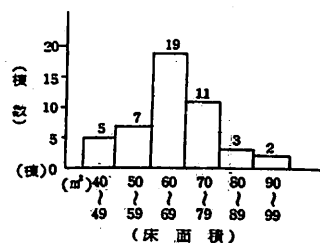


図3 1住戸当たり延べ床面積の段階区分別状況

2 共同住宅（RC造）に係る建築価額等の調査

(1) 建築価額等の状況

建築価額等の状況は、表2及び表3のとおりである。

表2 建築価額等の平均値

建築価額 (A)	価額	128,691
	指数	90
再建築費 評点数(B)	評点数	90,316
	指数	99
修正建築 価額(C)	価額	130,130
	指数	91
再建築価 額(D)	価額	99,347
	指数	99
評価水準 $\frac{(A)}{(D)}$ (%)		77

(単位 1 m^2 当たり円・点)
(東京都(特別区) = 100)

- 注1. 建築価額等は、各都市の数値の平均である。
- 注2. 再建築費評点数は、昭和60年基準によって算出したものであり、再建築費評点補正率を乗じた後のものである。

調査対象都市における平均値及び東京都(特別区)を100とした場合の指数は、建築価額においては128,691円/ m^2 、指数90、再建築費評点数では90,316点/ m^2 、指数99、再建築価額では99,347円/ m^2 、指数99となっている。

建築価額及び修正建築価額の指数は、それぞれ90、91であり東京都(特別区)以外の地域では、調査対象家屋の個別特殊事情を考慮してもおおむね建築価額が安価であることがわかる。

なお、建築価額について分析すると、表3のとおりである。

表3 建築価額等の状況

(単位：千円/ m^2)

区分	最高	最低	平均	標準偏差
建築価額	219 (大津市)	95 (前橋市)	129	24.5
建築部分価額	180 (大津市)	72 (岐阜市)	103	20.7
建築設備部分価額	40 (浦和市・ 山口市)	15 (徳島市)	26	7.3

- 注1. 「建築部分価額」とは、各部分別のうち、建築設備を除く全ての部分別に係る建築価額をいう。
- 注2. 「建築設備部分価額」とは、建築設備のみに係る建築価額をいう。

建築価額の平均は129千円/m²、最高値は219千円/m²(大津市)、最低値は95千円/m²(前橋市)、標準偏差は24.5千円、標準偏差の平均に対する割合は19.0%、データの範囲124千円となっている。建築部分価額では平均103千円/m²、最高値180千円/m²(大津市)、最低値72千円/m²(岐阜市)、標準偏差20.7千円、標準偏差の平均に対する割合20.1%、データの範囲108千円となっている。また、建築設備部分価額では平均26千円/m²、最高値40千円/m²(浦和市・山口市)、最低値15千円/m²(徳島市)、標準偏差7.3千円、標準偏差の平均に対する割合は28.1%、データの範囲は25千円となっている。

これらのデータから、建築設備部分価額にあっては調査対象家屋の個体差が大きいこと、建築設備部分価額の偏差の大きさが建築価額の偏差に影響していることがわかる。

なお、調査対象家屋の建築価額、建築部分価額及び建築設備部分価額の段階区分別の状況を示すと図4、5及び6のとおりである。

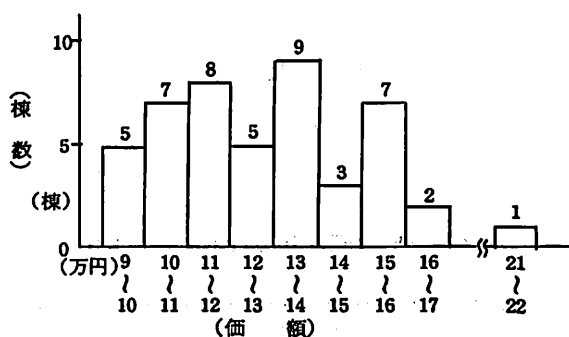


図4 建築価額の段階区分別状況

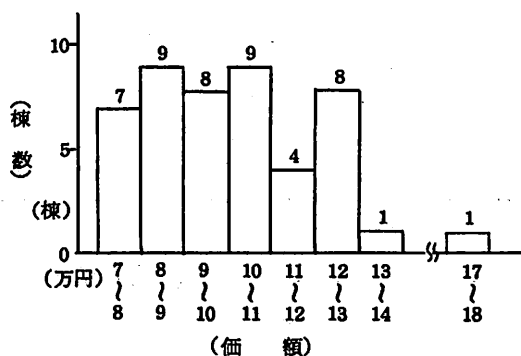


図5 建築部分価額の段階区分別状況

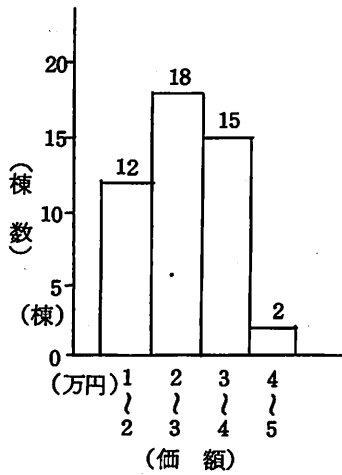


図6 建築設備部分価額の段階区分別状況

(2) 建築価額等の地域差

ア 概要

建築価額、再建築費評点数及び修正建築価額について、東京都（特別区）を100とした指数で、データの偏差をマクロ的にみたのが表4である。

表4 建築価額等の地域差（指数）

（特別区=100）

区分	全国平均指数	最高	最低	標準偏差
建築価額	90	153 (大津市)	66 (前橋市)	17.1
再建築費 評点数	99	129 (盛岡市)	75 (大分市)	11.2
修正建築 価額	91	163 (大津市)	71 (札幌市)	16.9

調査対象家屋の品等、施工の程度差、地域的物価差、その他個別的特殊事情等の要素が含まれる建築価額についてみると、平均90、最高値153（大津市）、最低値66（前橋市）、標準偏差17.1、標準偏差の平均に

対する割合19.0%、データの範囲87となっている。

また、その数値の差が、調査対象家屋の品等及び施工の程度差によるものと考えられる再建築費評点数の数値をみると、平均99、最高値129（盛岡市）、最低値75（大分市）、標準偏差11.2、標準偏差の平均に対する割合11.3%、データの範囲54となっている。

再建築費評点数は建築価額と異なり地域的物価差、個別的特殊事情等を含まないため偏差の要因が少なく、本調査においても建築価額よりも再建築費評点数において偏差が小さいことが確認できる。

次に、建築価額から調査対象家屋の品等及び施工の程度差による価額の変動要因を理論的に取り除いた修正建築価額をみると、平均91、最高値163（大津市）、最低値71（札幌市）、標準偏差16.9、標準偏差の平均に対する割合18.6%、データの範囲92となっている。原則的には、建築価額の変動要因を理論的に取り除くことから建築価額よりも数値の偏差及びデータの範囲は小さくなるはずであるが、本年度の調査では修正建築価額のデータの範囲が建築価額のそれを上回る結果となった。その原因としては、○修正建築価額に含まれている調査対象家屋の個別的特殊事情の要素が大きかったこと、○修正建築価額を算出する場合、東京都（特別区）の再建築費評点数を100とした指数を基にしているので、東京都（特別区）の調査対象家屋の再建築費評点数の高低が、修正建築価額に影響していること、○地域的物価差が影響していること等が考えられる。

1 地域差

① 建築価額

建築価額の地域差についてみると、平均は128,691円/ m^2 、標準偏差は24,468円を示し、標準偏差区間内（ $\bar{x} - s < \text{標準偏差区間} < \bar{x} + s$ をいい、 \bar{x} は平均、 s は標準偏差を意味する。以下同じ。）にあるデータ数は47個中33個と全体の70.2%を占め、標準偏差の平均に対する割合は19.0%となっている。（別表1参照）

また、データの範囲をみると、最高値218,533円/ m^2 （大津市）、最低値94,728円/ m^2 （前橋市）、データの範囲123,805円を示している。

その状況を具体的に示したのが図7である。

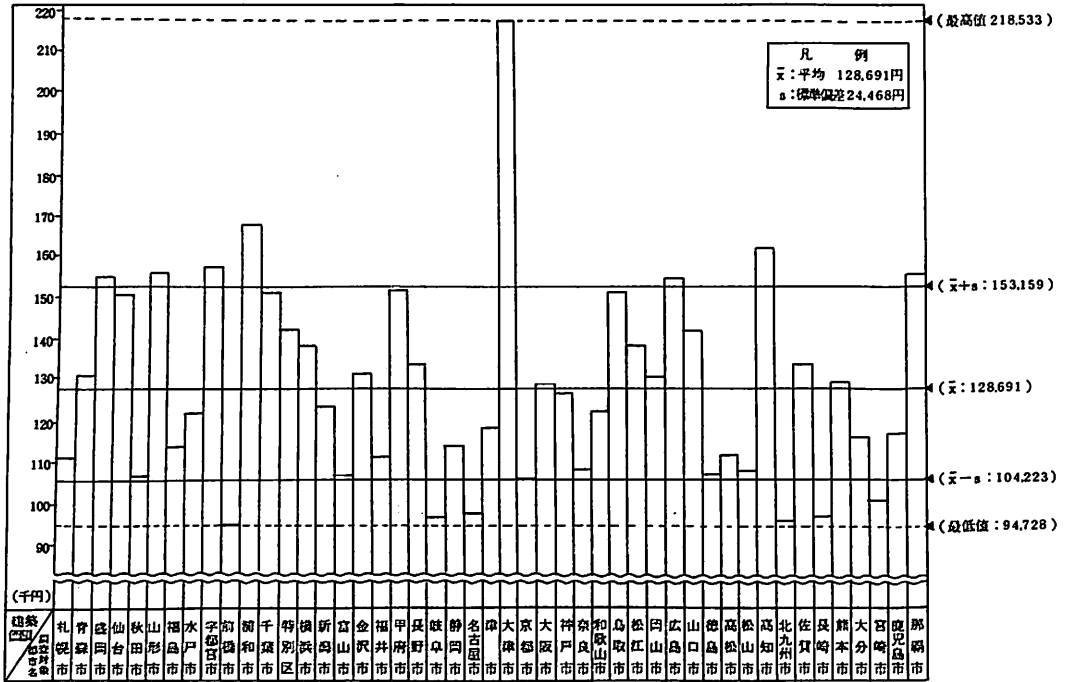


図7 建築価額の偏差状況

建築価額が平均（128,691）より高い都市は上から順に、大津市、浦和市、高知市、宇都宮市、山形市、盛岡市、那覇市、広島市、甲府市、仙台市、鳥取市、千葉市、東京都（特別区）、山口市、松江市、横浜市、長野市、佐賀市、青森市、金沢市、岡山市、大阪市、熊本市となっている。

建築価額が平均より低い都市は下から順に、前橋市、北九州市、長崎市、岐阜市、名古屋市、宮崎市、京都市、富山市、秋田市、徳島市、松山市、奈良市、札幌市、福井市、高松市、福島市、大分市、鹿児島市、静岡市、津市、水戸市、和歌山市、新潟市、神戸市、の順となっている。

これらの各調査対象都市のデータを便宜的に、各都市が所在する都道府県に置き直して図示したものが図8である。

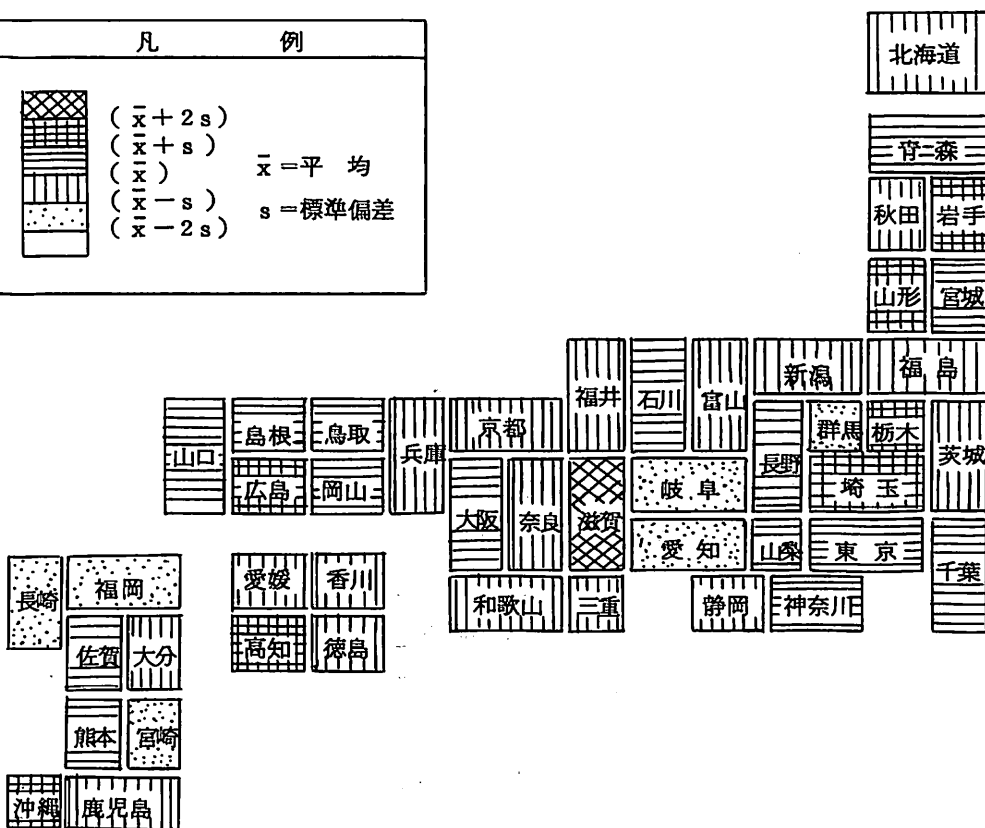
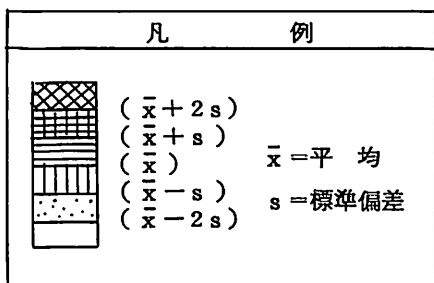


図8 建築価額の地域別偏差状況

建築価額の地域差をみるために便宜的に全国を14地域に区分し、東京都（特別区）を100とした指数で、昭和61年度の調査対象家屋の建築価額の地域差を示したのが表5である。

表5 建築価額の地域差（指数）

（特別区=100）

北海道	東北	北関東	南関東	北陸	中部	中京	北近畿	南近畿	山陰	山陽	四国	北九州	南九州
77	95	87	105	82	89	77	101	89	101	100	85	76	86

表5から南関東、北近畿、山陰、山陽の各地域の建築価額が高く、反面、北九州、北海道、中京が際立って低いことがわかる。

② 再建築費評点数

再建築費評点数の平均は 90.316 点/m^2 、標準偏差は 10.153 点 、標準偏差内にあるデータは47個中32個で全体の68.1%を占めており、標準偏差の平均に対する割合は11.2%を示している。(別表1参照)これは、建築価額よりもかなり偏差が小さいことを示している。

このように比較的狭い標準偏差区間内に約70%の家屋が集中していることは、一住戸当たりの床面積、間取り等にばらつきがあること等を考慮すれば、各都市間の「標準的な家屋」の品等及び施工の程度の地域差は、今回の調査においては比較的小さかったと認められる。

調査データのうち、最高値は $117,412 \text{ 点/m}^2$ (盛岡市)、最低値は $67,799 \text{ 点/m}^2$ (大分市)、データの範囲49,613点となっている。この最高値と最低値の差は、主として主体構造部の鉄筋及びコンクリート使用量の多少、外部仕上げの有無、建具の使用量の多少に起因していた。

以上のことを図示したものが図9である。

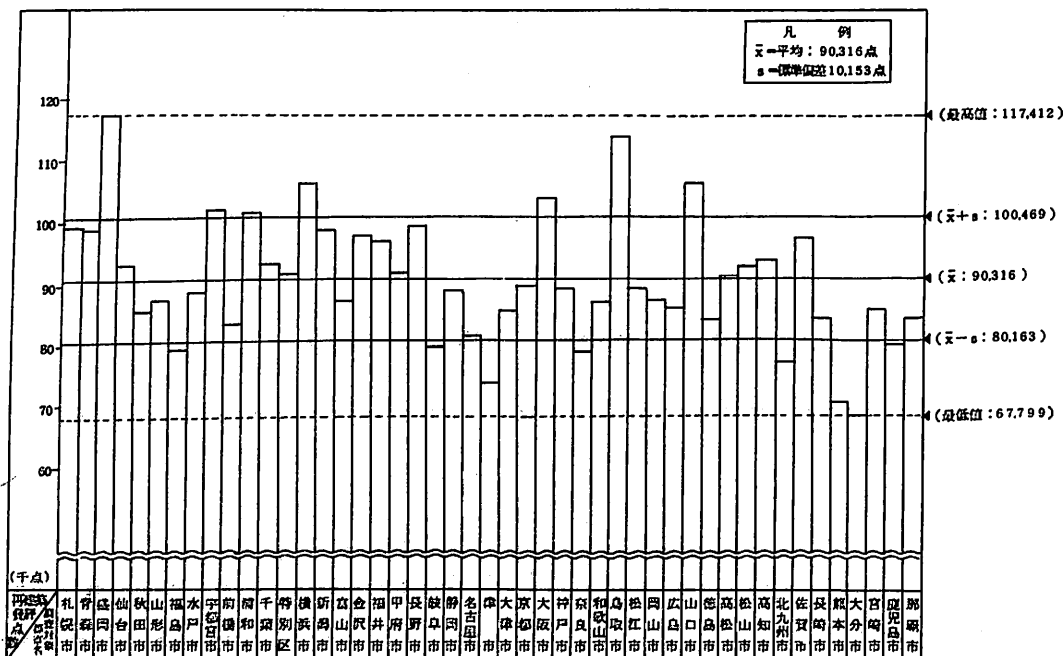


図9 再建築費評点数の偏差状況

図9から明らかなように、盛岡市、鳥取市が高い数値を示し、大分市、熊本市が低い数値を示しており、標準偏差が大きくなる要因になっていることがわかる。

次に便宜的に各調査対象都市のデータを各都市所在の都道府県に置き直してみると図10のとおりである。

盛岡市、鳥取市、宇都宮市、浦和市、横浜市、大阪市、山口市が高く、福島市、岐阜市、奈良市、津市、北九州市、熊本市、鹿児島市、大分市が低くなっている。

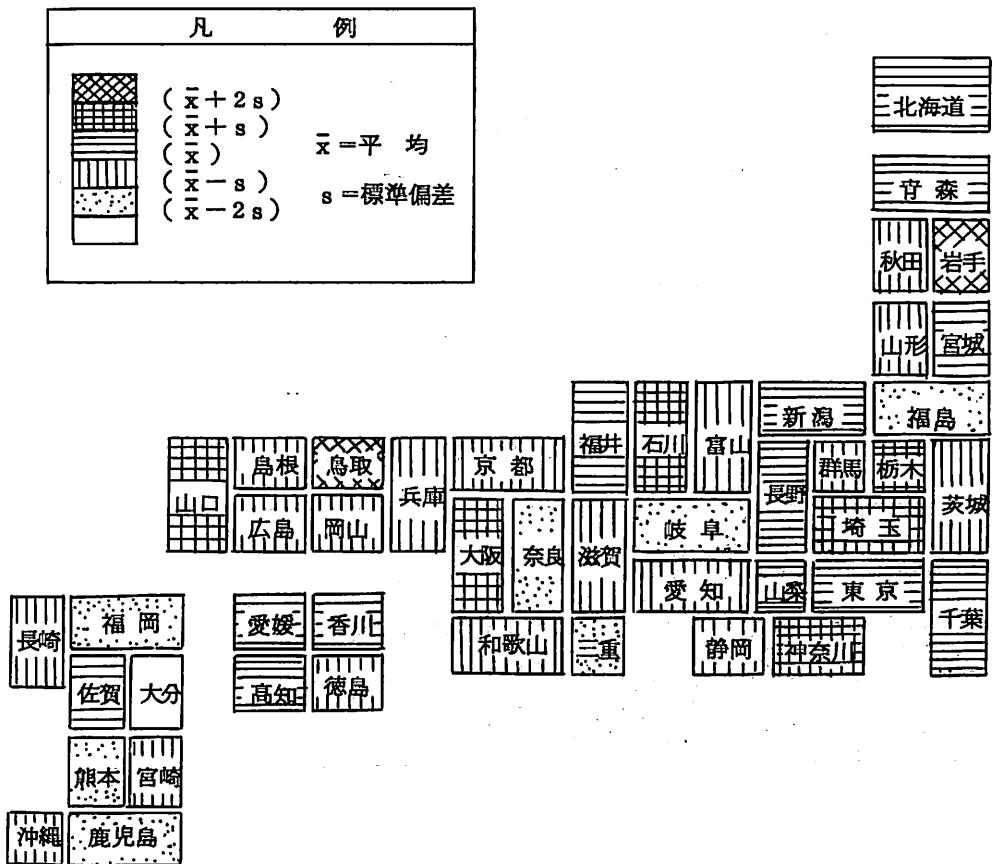


図10 再建築費評点数の地域別偏差状況

その状況を全国の14地域に区分し、東京都(特別区)を100として指数でみたのが表6である。

表6 再建築費評点数の地域差（指数）

（特別区＝100）

北海道	東北	北関東	南関東	北陸	中部	中京	北近畿	南近畿	山陰	山陽	四国	北九州	南九州
109	103	100	108	104	99	90	93	103	112	102	99	94	85

各地域毎の指数をみると、再建築費評点数が高い地域としては山陰、北海道、南関東があげられ、低い地域としては南九州、中京、北近畿、北九州があげられ、図10で示した都道府県別の結果とおおむね同様の傾向を示している。

以上にみられる再建築評点数の地域差は、主に部分別の使用資材や施工量の相違等に起因していると考えられる。

(3) 建築価額及び修正建築価額の段階区分別構成比

建築価額及び修正建築価額が、それぞれどの程度の価額レベルにあるのかをここでは見ることにする。

建築価額と修正建築価額の段階区分別構成比を示すと表7及び表8のとおりである。

表7 建築価額の段階別区分

（単位：円、個、％）

区分	建築価額															
	90,000 ～ 99,999	100,000 ～ 109,999	110,000 ～ 119,999	120,000 ～ 129,999	130,000 ～ 139,999	140,000 ～ 149,999	150,000 ～ 159,999	160,000 ～ 169,999	170,000 ～ 179,999	180,000 ～ 189,999	190,000 ～ 199,999	200,000 ～ 209,999	210,000 ～ 219,999	220,000 ～ 229,999	230,000 ～ 239,999	
個数	5	7	8	6	7	2	9	2	-	-	-	-	1	-	-	
(構成比)	(11)	(15)	(17)	(13)	(15)	(4)	(19)	(4)	(-)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)	(-)	

- 注 1. 太枠は最頻区分
2. 斜線部分は、標準偏差区間を含む区分

表 8 修正建築価額の段階別区分

(単位:円、個、%)

区 分	修 正 建 築 価 額														
	90,000 ～ 99,999	100,000 ～ 109,999	110,000 ～ 119,999	120,000 ～ 129,999	130,000 ～ 139,999	140,000 ～ 149,999	150,000 ～ 159,999	160,000 ～ 169,999	170,000 ～ 179,999	180,000 ～ 189,999	190,000 ～ 199,999	200,000 ～ 209,999	210,000 ～ 219,999	220,000 ～ 229,999	230,000 ～ 239,999
個 数	-	10	8	11	3	5	4	4	-	-	-	-	-	-	1
(構成比)	(-)	(21)	(17)	(23)	(6)	(13)	(8)	(9)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(2)

- 注 1. 太枠は最頻部分
2. 斜線部分は、標準偏差区間を含む区分

まず建築価額であるが、表7から最も集中している区分は150,000円以上159,999円以下になっている。(太枠部分参照)

次に修正建築価額であるが、表8から最も集中している区分は120,000円以上129,999円以下となっている。

また、建築価額は9区分に該当する家屋があるのに対し、修正建築価額は8区分にしか該当する家屋がなく、より集中している。これは、修正建築価額は建築価額から調査対象家屋の品等及び施工の程度差による価額の変動要因が理論的に取り除かれているためと考えられる。

次に、建築価額と修正建築価額の段階別の状況を図示すると、図11のとおりである。

図11によれば、表8と同様に昭和61年度調査の建築価額と修正建築価額の度数分布の状況は、修正建築価額の方が建築価額より集中していることがわかる。

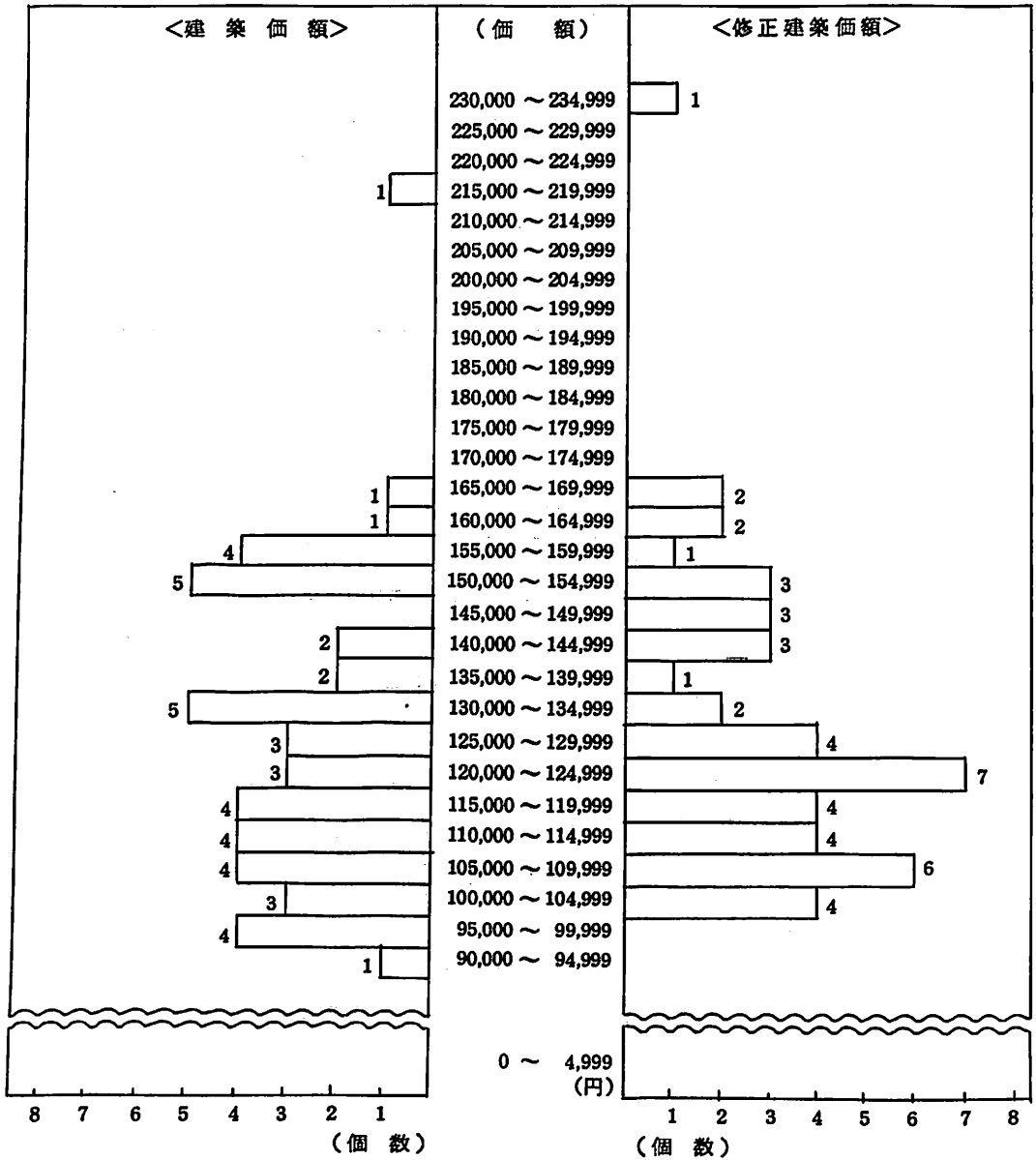


図 1 1 建築価額等の段階区分別状況

(4) 評点水準の状況

今回の調査における各都市の評点水準についてみると図12のとおりである。

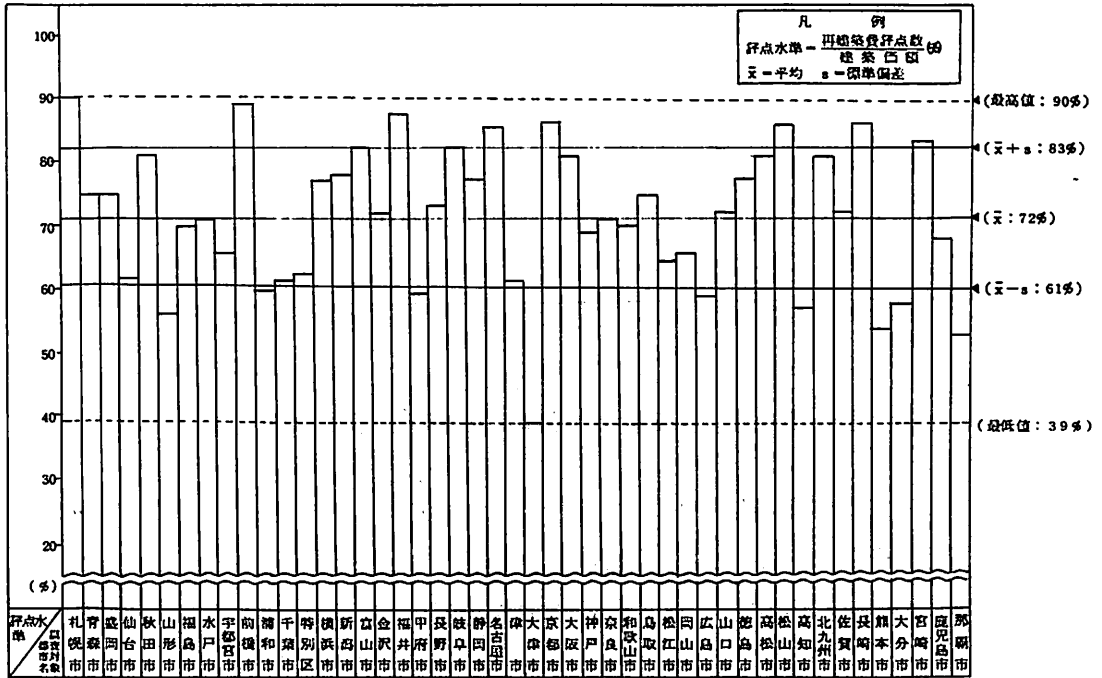


図12 建築価額に対する評点水準の都市別比較

評点水準の平均は72%、最高値は90%（札幌市）、最低値は39%（大津市）、標準偏差は11%、標準偏差の平均に対する割合は15%であり、データの範囲は51%となっており、かなりの偏差がみられる。

建築価額及び再建築費評点数は、それぞれ個別の偏差要因を内在しているものの、評点水準については標準偏差区間内にあるデータ数は28個であり、全体の約60%を占めており再建築費評点数は建築価額の6～8割程度の水準にあるものが多くなっている。

次に、建築価額と再建築費評点数の相関関係についてみると図13のとおりである。

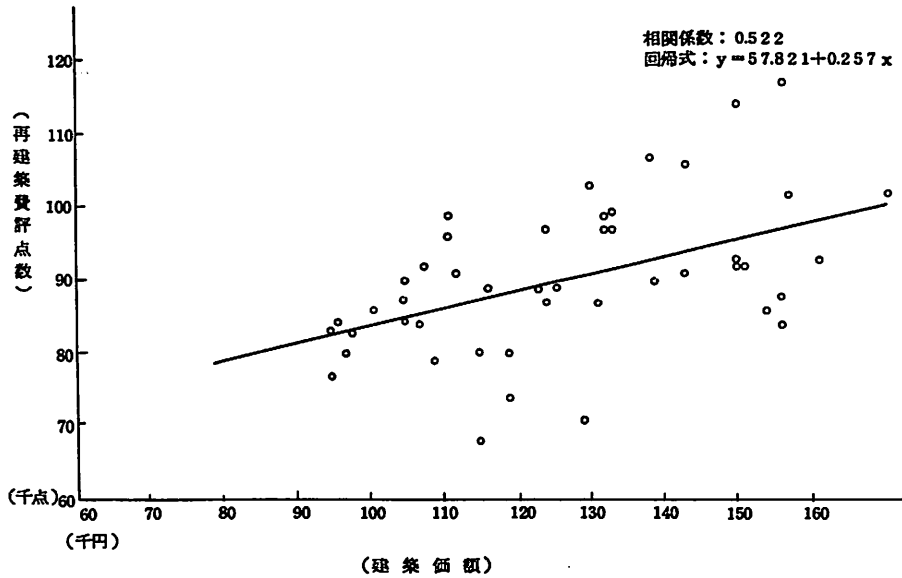


図13 建築価額と再建築費評点数の分布図

昭和61年度の調査では相関係数は、0.522であり、建築価額と再建築費評点数の相関関係は比較的強い正の相関にあるものと認められる。

また回帰式についても、その傾きは0.257であり、一般に建築価額が高くなれば再建築費評点数も高くなるという正の相関を示している。

3. 部分別の施工状況等の調査

(1) 再建築費評点数の部分別構成比

昭和61年度の調査対象家屋について、固定資産評価基準に定める各部分別の再建築費評点数の構成比の状況を見ると表9のとおりである。

表9 再建築費評点数の部分別構成比

(単位：%)

区 分	主体構造部	基礎	間仕切骨組	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具	仮設工事	その他の工事	建築設備
最 高	46	17	5	9	21	8	5	6	14	5	6	26
最 低	27	1	1	1	6	3	2	1	7	2	1	9
平 均	35	6	2	2	9	5	3	2	11	4	2	19
標準偏差	4.6	3.7	1.1	1.1	2.4	0.9	0.7	1.1	1.8	0.8	0.7	3.3

(注) 特殊設備に係る評点付設がなされている調査対象家屋が少数あったが、部分別構成比が無視しえるものだったので取り上げていない。

平均でみるとウェイトの高い構成部分は主体構造部、建築設備、建具、内部仕上げである。

各部分別の標準偏差は部分毎にかなりの偏差がみられる。

また、各部分を標準偏差の平均に対する割合でみると、基礎が62%、間仕切骨組、外部仕上げ、屋根仕上げが各55%、その他工事35%、その他の部分別においては30%以下となっている。主体構造部は13%で最も小さい数値を示している。数値の大きい部分ほど全体に占める構成比の偏差が大きいことになるが、その原因としては、調査対象家屋の個別的特殊要因のほか、地域的に使用資材が異なることが考えられる。

次に、再建築費評点数の部分別構成比の特色をみるために便宜的に全国を14地域に分けて昭和61年度の調査における構成比をみると、図14のとおりである。

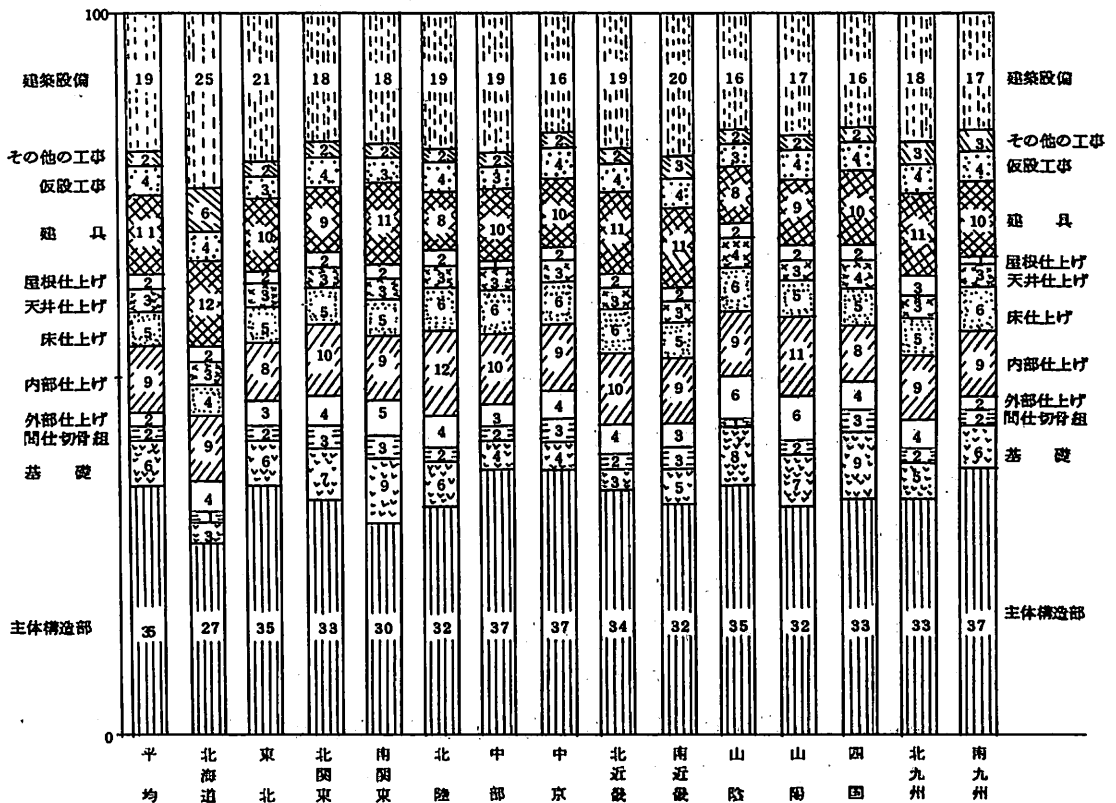


図14 再建築費評点数の地域別の部分別構成比

図14から主な構成部分（主体構造部、基礎及びいわゆる外回りに係る部分）の特徴をみると次のとおりである。

① 主体構造部

主体構造部は、全地域において最大ウェイトを占める部分となっている。各地域での構成比は比較的近似した数値になっているが、北海道がやや低くなっている。

② 基礎

基礎は、平均でみると上から5番目のウェイトを占めている。地域別にみると、南関東及び四国が高く、北海道及び北近畿が低い。60年度においても四国は高く、北海道、北近畿は低くなっており、これが個別的特殊要因によるものか、地域特性によるものかは今後の研究を待ちたい。

③ 外部仕上げ

外部仕上げは、平均で2%の構成比であり、地域別でもあまり大きなウェイトは占めていない。地域による偏差は、使用資材、開口率、仕上げ面積等の違いによるものと考えられる。

④ 屋根仕上げ

屋根仕上げは、平均でも地域別でも最もウェイトの低い部分であるが偏差は大きい。北九州が若干高くなっている。

⑤ 建具

建具は平均で11%と上から3番目のウェイトを占めている。建具ではあまり地域差はみられないが、北海道が若干高く、山陰が若干低くなっている。

⑥ 建築設備

建築設備は平均でも各地域別でも、主体構造部に次ぎ2番目に高いウェイトを占めている。北海道、東北が高く、中京、山陰、四国が低くなっている。北海道が高いのは直接暖房設備を設置していることによる。

建築設備は調査対象家屋の個別的事情により、その部分別再建築費評点数に大きな偏差がみられた。

表 1 0 建築設備に係る再建築費評点数の状況

データ数(個)		建築設備	電気設備	衛生設備	空調設備	防災設備	運搬設備
		47	47	47	45	20	11
再建築費評点数 (点/m ²)	平均	15,688	4,087	10,063	595	811	2,664
	最高	23,394 (札幌市)	6,218 (甲府市)	16,802 (大阪市)	6,560 (札幌市)	1,276 (札幌市)	3,947 (福井市)
	最低	6,510 (津市)	1,110 (津市)	5,330 (津市)	152 (大阪市)	64 (大阪市)	733 (奈良市)
	標準偏差	3,675	865	2,503	942	375	1,031
	標準偏差/平均(%)	23.4	21.2	24.9	158.3	46.2	38.7
	データの範囲	16,884	5,108	11,472	6,408	1,212	3,214

(備考) 表に掲げた5設備では、衛生設備の比率が55%と最も高く、次いで電気設備の22%が2番目に高かった。

4. 主要資材に係る価格の状況調査

昭和61年度の調査では、調査対象都市における生コンクリート(呼び強度180・スラブ18cm及び21cm、呼び強度210・スラブ18cm及び21cm)1m²当たり価格及び鉄筋(鉄筋コンクリート用異形棒鋼(JIS規格SD30)・径19~25mm)1t当たり価格について調査した。

ア 生コンクリート

昭和60年度の調査においては、呼び強度210でスラブ18cm、19cm、20cm、21cmの4種について調査したが、昭和61年度の調査においてはRC造の共同住宅に一般に使用されることの多い呼び強度180、スラブ18cm、21cmを新たに調査対象に加え、呼び強度210のものはスラブ18cmと21cmのもののみを調査対象とした。

呼び強度180のものについては、スラブが18cmのものと21cmのものとの価格が同じ団体が11市、21cmのものの方が高い団体が13市あった。呼び強度210のものについては、スラブが18cmと21cmのものとの価格が同じ団体が10市、スラブ21cmのものの方が高い団体が17市あった。

その状況については表11のとおりである。

表 1 1 生コンクリート価格の状況 (単位:円)
(特別区=100)

区 分		最 高	最 低	平 均	標 準 偏 差	
180	18cm	価 格	15,100	8,100	12,570	1,507
		指 数	—	—	—	—
	21cm	価 格	15,300	8,100	12,630	1,646
		指 数	—	—	—	—
210	18cm	価 格	15,450	9,720	12,846	1,262
		指 数	137	86	114	11.2
	21cm	価 格	15,750	9,720	13,052	1,358
		指 数	—	—	—	—

なお、呼び強度210でスラブ18cmのものものの価格の偏差についてみると、平均は12,846円、標準偏差は1,262円を示し、標準偏差区間内にあるデータ数は38個中26個と全体の68.4%を占めており、標準偏差の平均に対する割合は9.8%となっている。

また、データの範囲等をみると、最高値15,450円(青森市)、最低値9,720円(前橋市)、データの範囲5,730円となっている。

生コンクリートの価格の地域差をみるために全国を14地域に区分して東京都(特別区)を100とした指数で示したのが表12である。

表 1 2 生コンクリート価格の地域差(指数)

(特別区=100)

北海道	東北	北関東	南関東	北陸	中部	中京	北近畿	南近畿	山陰	山陽	四国	北九州	南九州
128	104	92	105	112	114	113	118	110	130	120	117	102	112

表12をみると、今回の調査においては、北関東の価格が極めて低く、それについて北九州、南関東が低くなっている。また山陰、北海道が高くなっている。なお、指数の平均は114である。

1 鉄 筋

鉄筋については、鉄筋コンクリート用異形棒鋼（JIS規格SD30）・径19～25mmのものについて調査した。

その状況については表13のとおりである。

表13 鉄筋価格の状況

(単位：円
特別区=100)

区 分	最 高	最 低	平 均	標 準 偏 差
価 格	65,000 (那覇市)	39,000 (大阪市)	54,874	6,969
指 数	111	67	94	12.0

この表で指数についてみると、平均94、最高値111（那覇市）、最低値67（大阪市）、標準偏差12.0、標準偏差の平均に対する割合は12.8%、データの範囲は44となっている。

また、価格の偏差についてみると、平均は54,874円、標準偏差は6,969円を示し、標準偏差区間内にあるデータ数は41個中28個と全体の68.3%を占めており、標準偏差の平均に対する割合は12.7%となっている。これは生コンクリートの価格も鉄筋の価格もほぼ同程度の偏差があることを示している。なお、データは最高値65,000円（那覇市）、最低値39,000円（大阪市）、データの範囲26,000円を示している。

これを地域差をみるために全国を14地域に区分して、東京都（特別区）を指数100とした指数で示したものが表14である。

表14 鉄筋価格の地域差（指数）

(特別区=100)

北海道	東北	北関東	南関東	北陸	中部	中京	北近畿	南近畿	山陰	山陽	四国	北九州	南九州
79	99	93	101	88	89	98	97	79	91	102	90	91	100

表14によると、北海道と南近畿が79と最も低く、山陽が102と最も高くなっている。なお、指数の平均は94である。

5. 施工会社及び販売形態の状況調査

調査対象家屋の施工を請け負った建築会社の区分及びその販売形態については以下のとおりである。

ア 施工会社の状況

施工会社の状況については、表15のとおりである。

表15 施工会社の状況(その1)

区 分	建設大臣登録	知事登録
社 数	30	17

今回の調査においては、建設大臣登録と知事登録のそれぞれの会社数の割合は、ほぼ64:36の割合で建設大臣登録の会社の方が多かった。

また、本年度の調査対象家屋を住戸数あるいは工事価額の各段階区分別に施工会社の状況をみると、表16のとおりである。

表16 施工会社の状況(その2)

(住戸数別)

(工事価額別)

住戸数 (戸)	棟数	施工会社の状況	
		建設大臣 登録	知事 登録
1~9	2	1	1
10~19	12	5	7
20~29	22	16	6
30~39	6	3	3
40~49	4	4	—
50~	1	1	—

工事価額 (億円)	棟数	施工会社の状況	
		建設大臣 登録	知事 登録
~1	2	1	1
1~2	26	12	14
2~3	16	14	2
3~4	—	—	—
4~5	2	2	—
5~	1	1	—

表16から明らかなように、規模の大きいものあるいは工事価額の大きいものは、建設大臣登録の会社が施工する例が多かった。

イ 販売形態の状況

販売形態の状況については、表17のとおりである。

表17 販売形態の状況

区分	分譲		賃貸	
	民間	公社・公団	民間	公社・公団
棟数	10	—	34	3

表17から今回の調査においては、民間会社の賃貸住宅が調査対象家屋の7割以上を占めていたことがわかる。

Ⅲ 計数資料等

(1) 別表1 共同住宅(RC造)に係る建築価額等の状況(指数:特別区=100)

都 道 府 県	府 名	調 査 対 象 都 市 名	建 築 価 額		再 建 築 費 評 点 数		修 正 建 築 価 額		評 点 水 準 (C)/(A)×100 (%)		
			価 額 (A) (円/m ²)	指 数 (B)	評 点 数 (C) (点/m ²)	指 数 (D)	価 額 (A)/(D)×100(円/m ²)	指 数			
北 海 道	青 森 県	札幌市	110,630	77	99,294	109	101,495	71	90		
		青森市	132,080	92	98,955	109	121,174	85	75		
		岩手市	155,921	109	117,412	129	120,869	85	75		
		宮城県	仙台市	150,313	105	92,491	102	147,366	103	62	
		秋田県	秋田市	105,242	74	85,055	93	113,163	79	81	
		山形県	山形市	156,066	109	87,975	97	160,093	112	56	
		福島県	福島市	114,362	80	79,799	88	129,957	91	70	
		茨 木 県	茨 木 県	水戸市	122,735	86	88,536	97	126,531	89	72
				宇都宮市	157,168	110	102,145	112	140,329	98	65
前橋市	94,728			66	83,281	92	102,965	72	88		
浦和市	169,946			119	102,071	112	151,738	106	60		
千葉市	150,095			105	92,938	102	147,152	103	62		
東京都	特別区			142,884	100	90,997	100	142,884	100	64	
神奈川県	横浜			138,387	97	106,628	117	118,279	83	77	
新 潟 県	新潟県			新潟市	124,362	87	97,329	107	116,226	81	78
				富山市	104,769	73	87,208	96	109,134	76	83
		石川市	132,069	92	97,070	107	123,429	86	73		
山 梨 県	山梨県	井川市	110,675	77	96,275	106	104,410	73	87		
		甲府市	153,068	107	91,544	101	151,552	106	60		
		長野市	133,458	93	98,962	109	122,439	86	74		
山 梨 県	山梨県	早野市	96,769	68	79,882	88	109,964	77	83		
		静岡市	115,647	81	88,731	98	118,007	83	77		
		愛知県	名古屋	97,850	68	82,957	91	107,527	75	85	
滋 賀 県	滋賀県	津市	118,797	83	74,119	81	146,663	103	62		
		大津市	218,533	153	85,721	94	232,482	163	39		
		京都府	大津市	104,582	73	89,901	99	105,638	74	86	
大 阪 府	大阪府	大阪市	129,621	91	103,444	114	113,703	80	80		
		神戸市	127,794	89	88,812	98	130,402	91	69		
		奈良県	奈良市	109,226	76	79,009	87	125,547	88	72	
和 歌 山 県	和歌山県	和歌山市	123,570	86	87,257	96	128,719	90	71		
		鳥取県	鳥取市	150,202	105	113,739	125	120,162	84	76	
		島根県	松江市	139,263	97	89,839	99	140,670	98	65	
岡 山 県	岡山県	岡山市	131,138	92	86,922	96	136,602	96	66		
		広島市	154,367	108	85,956	94	164,220	115	56		
		山口県	山口市	142,779	100	106,387	117	122,034	85	75	
徳 島 県	徳島県	徳島市	106,989	75	83,532	92	116,292	81	78		
		高松市	112,143	78	90,926	100	112,143	78	81		
		愛媛県	松山市	107,502	75	92,327	101	106,438	74	86	
高 知 県	高知県	高知市	161,780	113	93,714	103	157,068	110	58		
		福 岡 県	福岡県	北九州市	95,265	67	76,802	84	113,411	79	81
				佐賀市	133,450	93	97,075	107	124,720	87	73
長崎県	長崎市			96,040	67	83,883	92	104,391	73	87	
大 分 県	大分県	大分市	128,793	90	71,111	78	165,119	116	55		
		宮崎県	本分市	115,053	81	67,799	75	153,404	107	59	
		大分市	大分市	101,334	71	85,545	94	107,802	75	84	
鹿 児 島 県	鹿児島県	鹿儿岛市	115,155	81	79,444	87	132,362	93	69		
		那覇市	155,892	109	84,068	92	169,447	119	54		
標 本	標準	偏差	24,468	17.1	10,153	11.2	23,976	16.9	11.1		
		高	大津市	大津市	盛岡市	盛岡市	大津市	大津市	札幌市		
		低	218,533	153	117,412	129	232,482	163	90		
		平均	前橋市	前橋市	大分市	大分市	札幌市	札幌市	大津市		
平	平均	均	94,728	66	67,799	75	101,495	71	39		
		均	128,691	90	90,316	99	130,130	91	72		

(2) 別表2 共同住宅(RC造)に係る部分別構成比の状況

(単位:%)

都道府県	道名	府名	調査対象市	主体構造部	基礎	間仕切骨組	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具	建築設備	仮設工事	その他の工事
北海道	道	札幌市	札幌市	27	3	1	4	9	4	3	2	12	25	4	6
			札幌市	30	6	1	5	8	5	4	6	11	19	3	2
			札幌市	39	6	1	5	6	5	2	1	10	21	2	2
			札幌市	34	4	2	1	9	6	3	2	12	22	3	2
			札幌市	28	6	2	3	10	5	4	2	7	26	4	3
			札幌市	43	8	2	2	6	4	3	1	8	19	3	1
			札幌市	40	4	2	2	8	5	3	1	11	18	4	2
			札幌市	30	4	4	4	10	5	3	2	11	21	4	2
			札幌市	34	17	1	2	9	5	3	2	7	15	3	2
			札幌市	36	1	4	5	10	5	4	1	9	19	4	2
東京都	都	東京都	東京都	30	17	4	3	9	5	3	1	8	16	2	2
			東京都	30	17	4	3	9	5	3	1	8	16	2	2
			東京都	27	11	1	5	10	5	4	2	10	18	4	3
			東京都	33	4	2	7	10	5	3	4	12	15	3	2
			東京都	30	5	3	5	8	6	3	1	12	22	3	2
			東京都	29	8	4	1	21	6	3	1	7	17	2	2
			東京都	35	2	1	5	13	7	4	2	8	17	4	2
			東京都	34	8	2	4	9	5	3	1	10	19	3	2
			東京都	35	4	1	5	6	5	3	2	8	24	5	2
			東京都	45	2	—	3	8	5	4	1	8	20	2	2
千葉県	県	千葉市	千葉市	31	6	2	4	10	6	3	1	11	21	3	2
			千葉市	37	5	2	1	12	7	3	1	10	16	4	2
			千葉市	32	1	2	6	11	5	3	2	11	21	4	2
			千葉市	37	6	3	2	9	6	3	1	10	17	4	2
			千葉市	46	5	—	3	8	6	4	2	11	9	4	2
			千葉県	35	2	3	7	11	4	3	2	11	17	3	2
			千葉県	28	4	1	5	8	7	3	2	13	22	4	3
			千葉県	31	10	2	3	7	3	3	1	9	24	3	4
			千葉県	34	2	2	3	9	6	3	3	11	21	4	2
			千葉県	37	4	2	1	12	8	4	1	8	17	4	2
東京都	都	東京都	東京都	32	2	4	4	12	5	4	1	13	16	4	3
			東京都	40	7	1	7	7	5	5	2	7	14	3	2
			東京都	31	9	1	5	11	6	3	1	9	19	3	2
			東京都	27	9	2	9	13	5	3	2	8	16	4	2
			東京都	32	7	2	4	11	6	3	3	12	13	4	3
			東京都	37	6	2	4	8	4	2	1	8	22	4	2
			東京都	31	8	5	4	8	5	4	1	13	14	5	2
			東京都	36	4	4	3	9	5	4	2	10	18	3	2
			東京都	39	8	2	6	7	5	3	2	7	17	3	2
			東京都	30	15	1	4	8	4	4	1	10	18	3	2
福岡県	県	福岡市	福岡市	30	4	1	4	9	5	3	6	12	18	5	3
			福岡市	33	9	3	5	9	5	3	1	9	18	3	2
			福岡市	38	3	2	4	8	6	2	1	11	18	4	3
			福岡市	37	4	1	2	10	6	2	1	10	20	4	3
			福岡市	33	11	2	1	11	5	2	2	9	16	5	3
			福岡市	35	4	2	4	10	5	4	1	9	20	4	2
			福岡市	34	7	1	4	9	7	2	1	14	15	4	2
			福岡市	43	4	2	1	6	6	4	2	10	14	5	3
			福岡市	46	3.7	1.1	1.1	2.4	0.9	0.7	1.1	1.8	3.3	0.8	0.7
			福岡市	46	17	5	9	21	8	5	6	14	26	5	6
福岡市	27	1	1	1	6	3	2	1	7	9	2	1			
福岡市	35	6	2	2	9	5	3	2	11	19	4	2			

(3) 別表3 共同住宅(RC造)に係る部分別評点数の状況

(単位:点、指数:特別区=100)

都道府県	府名	調査対象都市名	主体構造部		基礎		間仕切骨組		外部仕上げ		内部仕上げ		床仕上げ	
			評点数	指数	評点数	指数	評点数	指数	評点数	指数	評点数	指数	評点数	指数
北海道	青森	札幌市	25,821	94	2,843	77	935	45	3,785	67	8,426	100	3,486	75
		青森市	27,621	100	5,366	145	638	31	4,606	81	7,554	89	4,330	94
		盛岡市	43,368	158	6,273	170	1,400	68	5,294	93	6,670	79	5,216	113
		秋田市	21,372	78	5,159	139	1,925	93	2,189	38	7,970	94	4,118	89
		弘前市	28,942	105	3,443	93	1,645	79	1,052	18	7,820	92	5,319	115
山形県	福島	山形市	35,454	129	6,577	178	1,235	60	1,710	30	5,132	61	3,499	76
		福島市	29,227	106	2,694	73	1,466	71	1,818	32	5,777	68	4,079	88
		仙台市	28,942	105	3,443	93	1,645	79	1,052	18	7,820	92	5,319	115
		郡山市	21,372	78	5,159	139	1,925	93	2,189	38	7,970	94	4,118	89
		南相馬市	28,942	105	3,443	93	1,645	79	1,052	18	7,820	92	5,319	115
茨城県	栃木	水戸市	25,248	92	3,058	83	3,466	167	3,589	63	7,979	94	4,067	88
		宇都宮市	32,676	119	15,969	432	1,225	59	1,716	30	8,932	106	4,784	104
		前橋市	27,062	98	809	22	3,492	169	3,599	63	7,864	93	4,020	87
		宇都宮市	28,259	103	16,539	447	3,815	184	2,626	46	8,663	102	4,465	97
		宇都宮市	23,153	84	9,281	251	1,145	55	4,625	81	8,972	106	4,262	92
東京都	神奈川	特別区	27,520	100	3,700	100	2,071	100	5,689	100	8,459	100	4,621	100
		横浜市	29,493	107	5,157	139	2,625	127	4,975	87	8,351	99	6,040	131
		川崎市	26,473	96	7,287	197	3,643	176	1,213	21	18,898	223	4,135	89
		さいたま市	29,553	107	1,468	40	843	41	3,956	70	10,364	123	5,610	121
		さいたま市	31,463	114	6,828	185	1,766	85	3,480	61	7,742	92	4,561	99
山梨県	長野	甲府市	31,136	113	4,012	108	1,014	49	4,626	81	5,588	66	4,219	91
		甲府市	38,091	138	1,598	43	-	-	2,687	47	6,789	80	4,379	95
		長野市	28,259	103	5,564	150	1,505	73	3,859	68	9,141	108	5,374	116
		長野市	26,785	97	3,781	102	1,675	81	726	13	8,952	106	5,088	110
		長野市	26,691	97	999	27	1,758	85	4,916	86	9,065	107	3,974	86
静岡県	愛知	名古屋市	29,120	106	4,865	131	2,143	103	1,189	21	7,598	90	4,310	93
		豊田市	31,726	115	3,128	85	-	-	2,226	39	5,430	64	3,946	85
		名古屋市	27,451	100	1,221	33	2,485	120	5,834	103	8,592	102	3,581	77
		名古屋市	24,602	89	3,052	82	1,064	51	3,940	69	6,452	76	5,737	124
		名古屋市	30,192	110	9,307	252	2,280	110	2,519	44	7,232	85	3,193	69
滋賀県	大阪	大阪市	29,370	107	1,509	41	1,365	66	2,692	47	8,312	98	4,811	104
		大阪市	27,119	99	3,251	88	1,401	68	520	9	8,883	105	5,796	125
		大阪市	25,513	93	1,763	48	3,466	167	3,342	59	9,740	115	3,942	85
		大阪市	43,230	157	7,254	196	780	38	7,007	123	7,530	89	5,301	115
		大阪市	25,708	93	7,330	198	805	39	4,417	78	8,847	105	5,354	116
岡山県	広島	岡山市	21,799	79	7,315	198	1,958	95	7,447	131	10,201	121	4,193	91
		岡山市	25,480	93	5,328	144	1,995	96	3,135	55	9,017	107	4,929	107
		岡山市	37,329	136	5,691	154	2,273	110	4,145	73	7,949	94	4,223	91
		徳島市	25,272	92	5,969	161	3,855	186	2,844	50	5,942	70	3,680	80
		徳島市	29,659	108	3,719	101	3,605	174	2,687	47	8,024	95	4,053	88
徳島県	愛媛	松山市	33,378	121	7,007	189	1,750	85	4,121	72	6,403	76	4,269	92
		高知市	25,786	94	13,136	355	868	42	3,619	64	6,661	79	3,767	82
		北九州市	22,475	82	2,594	70	1,047	51	2,622	46	6,168	73	3,398	74
		佐賀市	30,193	110	8,378	226	2,310	112	4,119	72	7,877	93	4,932	107
		長崎市	30,355	110	2,208	60	1,625	78	3,315	58	6,065	72	4,578	99
熊本県	大分	熊本市	25,219	92	2,775	75	300	14	1,217	21	6,299	74	3,885	84
		大分市	23,286	85	7,553	204	1,078	52	551	10	7,568	89	3,259	71
		大分市	28,244	103	3,247	88	1,725	83	2,925	51	7,849	93	4,376	95
		鹿儿岛市	25,490	93	4,945	134	1,015	49	2,707	48	6,760	80	5,044	109
		那覇市	34,189	124	3,101	84	1,350	65	762	13	4,497	53	4,452	96
標準	偏差	高	4,763	173	3,450	93.2	926	44.7	1,612	28.4	2,093	24.7	692	15.0
		盛岡市	43,368	158	16,539	447	3,855	186	7,447	131	18,898	223	6,040	131
		秋田市	21,372	78	809	22	300	14	551	10	4,497	53	3,193	69
		平均	28,848	105	5,193	140	1,818	88	3,248	57	7,894	94	4,439	96
		低												

出 部分別評点数は昭和57年基準によるものである。

都道府県	調査対象都市名	天井仕上げ		屋根仕上げ		租 具		租 業 設 備		仮 設 工 事		その他の工事	
		評点数	指数	評点数	指数	評点数	指数	評点数	指数	評点数	指数	評点数	指数
北海道	札幌市	2,392	97	1,512	47	11,306	115	23,394	186	3,256	110	5,643	300
	青森市	3,986	161	5,801	178	10,415	106	17,495	139	2,960	100	1,710	91
	岩手市	1,789	72	836	26	11,231	114	23,359	186	2,072	70	2,223	118
	宮城県	2,649	107	1,886	58	10,128	103	18,887	150	2,960	100	1,710	91
	秋田山形	3,062	124	1,365	42	5,730	58	20,826	166	3,552	120	2,223	118
茨城県	水戸市	2,232	92	1,001	31	6,496	66	15,730	125	2,072	70	1,026	55
	福島市	2,232	90	966	30	8,235	83	13,415	107	2,960	100	1,710	91
	栃木市	2,297	93	1,650	51	9,436	96	17,284	138	2,960	100	1,710	91
	宇都宮市	2,977	120	1,528	47	6,661	68	14,326	114	2,960	100	1,710	91
	前橋市	3,244	131	1,159	36	7,136	72	14,778	118	2,960	100	1,710	91
千葉県	浦和市	2,642	107	1,072	33	7,936	80	15,229	121	2,368	80	1,710	91
	千葉市	3,610	146	1,431	44	8,435	85	15,998	127	3,552	120	2,394	127
	特別区	2,474	100	3,250	100	9,866	100	12,555	100	2,960	100	1,881	100
	東横市	2,482	100	1,428	44	12,387	126	21,613	172	2,960	100	1,710	91
	新宮市	2,989	121	807	25	6,338	64	15,397	123	2,072	70	1,710	91
石川県	富山市	2,942	119	1,756	54	6,124	62	14,217	113	2,960	100	1,710	91
	金沢市	2,658	107	1,125	35	9,146	93	16,822	134	2,960	100	1,881	100
	福井市	2,819	114	1,515	47	7,540	76	21,224	169	4,232	143	2,052	109
	甲府市	3,158	128	882	27	7,166	73	17,024	136	2,072	70	1,710	91
	長野市	2,376	96	1,366	42	10,536	107	19,838	158	2,960	100	1,710	91
静岡県	静岡市	2,274	92	787	24	7,548	77	12,164	97	3,167	107	1,710	91
	岡崎市	2,846	115	1,425	44	9,001	91	17,582	140	2,960	100	1,710	91
	愛知県	2,095	85	980	30	7,516	76	13,044	104	2,960	100	1,710	91
	三重市	2,922	118	1,040	32	7,673	78	6,510	52	2,960	100	1,710	91
	滋賀市	2,629	106	1,965	60	8,428	85	13,850	110	2,368	80	1,710	91
東京都	大塚市	2,374	96	1,682	52	10,790	109	18,802	150	2,960	100	2,565	136
	大阪府	3,036	123	946	29	8,469	86	23,124	180	2,960	100	3,420	182
	兵庫市	2,260	91	2,259	70	8,718	88	17,036	136	2,960	100	1,710	91
	奈良市	2,649	107	650	20	6,214	63	12,688	101	2,960	100	1,710	91
	和歌山市	3,516	142	1,007	31	10,965	111	13,283	106	2,960	100	2,052	109
鳥取県	鳥取市	4,962	201	2,459	76	8,033	81	15,073	120	2,960	100	1,710	91
	根松市	2,250	91	1,111	34	7,318	74	16,605	132	2,368	80	1,710	91
	岡山市	2,544	103	1,333	41	6,658	67	13,118	104	2,960	100	1,710	91
	広島市	2,805	113	2,227	69	9,710	98	10,695	85	2,960	100	2,052	109
	山口市	1,752	71	825	25	8,175	83	21,804	174	3,552	120	1,710	91
徳島県	徳島市	2,965	120	1,015	31	10,357	105	11,078	88	3,552	120	1,539	82
	高松市	3,219	130	1,368	42	8,678	88	15,296	122	2,960	100	1,710	91
	愛媛市	2,503	101	1,353	42	5,919	60	14,572	116	2,960	100	2,052	109
	高知市	3,784	153	1,087	33	8,415	85	15,791	126	2,960	100	1,710	91
	福岡市	2,435	98	3,986	123	9,185	93	12,731	101	3,256	110	1,881	100
佐賀県	佐賀市	2,888	117	1,247	38	7,755	79	16,356	130	2,960	100	1,710	91
	長崎市	1,274	51	948	29	8,317	84	14,232	113	3,256	110	2,223	118
	熊本市	1,565	63	812	25	6,362	64	13,355	106	2,960	100	1,710	91
	大分市	1,353	55	1,062	33	6,289	64	10,834	86	3,256	110	1,710	91
	宮崎市	2,820	114	1,060	33	6,904	70	16,129	128	2,960	100	1,710	91
鹿児島県	鹿児島市	1,497	61	631	19	10,096	102	11,392	91	2,960	100	1,710	91
	那覇市	3,320	134	1,534	47	8,447	86	10,800	86	3,552	120	2,565	136
	標準偏差	678	27.4	898	27.6	1,634	16.6	3,675	29	412	13.9	649	34.4
	最高	3,986	161	5,801	178	12,387	126	23,394	186	4,232	143	5,643	300
	最低	1,274	51	631	19	5,730	58	6,510	52	2,072	70	1,026	55
平均	2,672	108	1,471	45	8,387	85	15,688	125	2,966	100	1,936	103	

附表1 主体構造部及び基礎に係る施工量の状況

都道府県	調査対象都市名	主体構造部		基礎		地盤
		鉄筋使用量 (t/㎡)	コンクリート使用量 (㎡/㎡)	杭の使用本数 (本/㎡)	使用杭の種類	
北海道	札幌市	0.052	0.640	—	—	普通
	苫小牧市	0.076	0.621	0.089	PCパイプ	普通
	旭川市	0.118	1.034	0.048	鉄筋コンクリート杭	普通
	帯広市	0.082	0.674	0.049	PCパイプ	普通
	釧路市	0.060	0.500	0.080	鉄筋コンクリート杭	普通
	網走市	0.088	0.943	0.140	鉄筋コンクリート杭	普通
青森県	青森市	0.082	0.684	0.054	鉄筋コンクリート杭	普通
	八戸市	0.066	0.611	0.071	鉄筋コンクリート杭	普通
	五戸市	0.145	1.034	0.069	PCパイプ	普通
	三戸市	0.081	0.616	—	—	普通
	上野原市	0.070	0.700	0.240	六角杭	普通
	弘前市	0.060	0.770	0.130	鉄筋コンクリート杭	普通
岩手県	盛岡市	0.073	0.668	—	—	普通
	奥州市	0.090	0.660	0.040	ベデスタル杭	普通
	宮古市	0.084	0.580	0.012	場所打コンクリート杭(アースドリル工法)	普通
	花巻市	0.068	0.801	—	—	普通
	盛岡市	0.103	0.675	0.049	PHCパイプ	やや軟弱
	大船渡市	0.082	0.699	0.038	鉄筋コンクリート杭	普通
秋田県	秋田市	0.076	1.020	—	—	普通
	横手市	0.070	0.700	0.180	鉄筋コンクリート杭	普通
	大館市	0.059	0.693	0.070	鉄筋コンクリート杭	普通
	鷹巣市	0.076	0.620	—	—	普通
	大館市	0.089	0.662	0.056	鉄筋コンクリート杭	普通
	大館市	0.080	0.780	0.060	鉄筋コンクリート杭	普通
山梨県	甲府市	0.080	0.630	—	—	普通
	甲府市	0.068	0.580	0.086	鉄筋コンクリート杭	普通
	甲府市	0.092	0.678	0.013	場所打コンクリート杭	やや軟弱
	甲府市	0.076	0.714	—	—	良好
	甲府市	0.070	0.660	0.050	PCパイプ	普通
	甲府市	(不明)	(不明)	0.010	鉄筋コンクリート杭	普通
長野県	長野市	0.131	0.972	0.055	鉄筋コンクリート杭	普通
	長野市	0.061	0.648	0.108	鉄筋コンクリート杭	普通
	長野市	0.063	0.750	0.067	鉄筋コンクリート杭	普通
	長野市	0.070	0.610	0.010	場所打コンクリート杭(アースドリル工法)	普通
	長野市	0.120	0.810	0.031	PCパイプ	普通
	長野市	(不明)	(不明)	0.033	鉄筋コンクリート杭、ベデスタル杭	普通
岐阜県	岐阜市	0.077	0.720	0.030	PCパイプ	普通
	岐阜市	0.102	0.808	0.068	鉄筋コンクリート杭	普通
	岐阜市	0.070	0.615	0.062	鉄筋コンクリート杭	普通
	岐阜市	0.056	0.573	0.036	鉄筋コンクリート杭	普通
	岐阜市	0.081	0.778	0.080	鉄筋コンクリート杭	普通
	岐阜市	0.071	0.750	0.002	場所打コンクリート杭	普通
静岡県	静岡市	0.054	0.660	—	—	普通
	静岡市	0.059	0.574	0.060	PCパイプ	普通
	静岡市	0.078	0.651	0.091	鉄筋コンクリート杭	普通
	静岡市	0.063	0.632	0.063	鉄筋コンクリート杭	普通
	静岡市	(不明)	(不明)	0.081	PCパイプ	普通
	静岡市	0.020	0.125	0.046		
標準偏差	高	0.145	1.034	0.240		
	低	0.052	0.500	0.002		
平均	均	0.079	0.709	0.066		

附表2 建築設備に係る部分別評点数と設備内容

都道府県	調査対象都市名	電 気 設 備										
		評点数 (点/㎡)	動力 配 設	力 線 備	電灯コン セント 配 設	蛍光灯 用器具	白熱灯 用器具	電話配 線設 備	呼出信 号設 備	インターホ ン 配 線 備	テレビジョン 共同視 聴 備	その他の設備
北海道	札幌市	4883	○	○	○		○	○	○	○		盗難非常通報装置
	青森市	4954	○	○	○		○		○	○		
	岩手市	5360	○	○	○	○						
	宮城県	4872	○	○	○	○						
	秋田市	4568	○	○	○	○		○				
	山形市	5007		○	○	○						
福島県	福島市	3311		○	○							
	茨城県	4517	○	○	○		○					
	栃木市	4098	○	○	○		○					
	群馬市	3302	○	○	○				○			
	埼玉県	3353		○	○		○					
	千葉県	4125	○	○	○	○						
東京都	特別区	4971	○	○	○	○	○					
	神奈川	5059	○	○	○	○	○					
	横浜市	5059	○	○	○	○	○					
新潟県	新潟市	3295	○	○	○	○						
	富山市	4015		○	○		○					
	石川市	4084		○	○	○	○					
	福井市	4962	○	○	○							
山梨県	甲府市	6218	○	○	○		○					
	長野市	3650	○	○	○	○			○		盗難非常通報装置	
	岐阜市	4095		○	○	○	○		○			
	静岡県	4915	○	○	○	○	○	○				
	愛知県	3714	○	○	○	○	○					
	三重市	1110	○	○	○	○						
滋賀県	大津市	3772		○	○	○						
	京都市	4875	○	○	○	○						
	大阪市	4487	○	○	○	○	○		○			
	兵庫県	5068	○	○	○	○	○					
	奈良市	3654	○	○	○	○	○					
	和歌山市	3771	○	○	○	○	○					
鳥取県	鳥取市	3610		○	○				○		電鈴設備(電池式)	
	根松市	2992		○	○	○						
	岡山市	3439		○	○	○		○				
	山口市	4194	○	○	○	○	○					
徳島県	徳島市	3108		○	○						電鈴設備(電池式)	
	高松市	4078	○	○	○	○						
	愛媛市	3093		○	○	○						
	高知市	4171	○	○	○	○						
福岡県	北九州市	3141		○	○	○			○		非常警報装置 水道用隔測 メーター設備 { ガス洩れ警報 配線設備 電鈴設備(電池式)	
	佐賀市	4572		○	○	○						
	長崎市	4253	○	○	○	○	○	○				
	熊本市	4936	○	○	○	○	○	○				
	大分市	3997		○	○	○	○					
	宮崎県	4843		○	○	○	○	○				
鹿児島県	鹿児島市	3574	○	○	○	○	○				電鈴設備(電池式)	
	那覇市	2961		○	○	○						

都道府県	調査対象都市名	衛生設備								その他の設備
		評点数 (点/m ²)	給水 設備	排水 設備	中央式 給湯 設備	衛生器 具設備	ユニット バス	ガス 設備	浄化槽 設備	
北海道	札幌市	8,955	○	○		○	○	○		流し台
	青森市	12,200	○	○		○	○	○	○	
	岩手市	12,804	○	○		○	○	○	○	
	宮城県	13,310	○	○		○	○	○	○	
	秋田市	15,311	○	○		○	○	○	○	
	山形市	8,860	○	○		○	○	○	○	
茨城県	水戸市	11,158	○	○		○	○	○		局所式給湯設備
	宇都宮市	9,823	○	○		○	○	○		
	前橋市	7,578	○	○		○	○	○	80	
	浦和市	11,530	○	○		○	○	○	72	
	千葉市	11,482	○	○		○	○	○	○	
	東京都	特別区	7,107	○	○		○	○	○	
新潟県	新潟市	10,831	○	○		○	○	○	○	流し台(ステンレス)
	富山市	9,822	○	○		○	○	○	90	
	金沢市	10,590	○	○		○	○	○		
	福井市	11,118	○	○		○	○	○		
山梨県	甲府市	9,806	○	○		○	○	○		局所式給湯設備 流し台(ステンレス)
	長野市	15,914	○	○		○	○	○	95	
	岐阜市	7,387	○	○		○	○	○		
	静岡市	9,725	○	○		○	○	○		
	愛知県	名古屋市	9,081	○	○		○	○	○	
滋賀県	大津市	9,811	○	○		○	○	○		流し台(ステンレス) 局所式給湯設備、キッチン ユニット
	京都市	11,365	○	○		○	○	○		
	阪南市	16,802	○	○		○	○	○		
	神戸市	10,729	○	○		○	○	○		
	奈良市	8,301	○	○		○	○	○		
	和歌山市	5,941	○	○		○	○	○	100	
島根県	島取市	11,275	○	○	○	○	○	○		流し台(ステンレス)
	松江市	13,204	○	○		○	○	○	54	
	岡山市	8,500	○	○	○	○	○	○		
	広島市	6,215	○	○		○	○	○		
徳島県	徳島市	7,538	○	○		○	○	○	○	
	高松市	9,457	○	○		○	○	○		
	松山市	9,870	○	○		○	○	○		
	高知市	9,860	○	○		○	○	○		
福岡県	北九州市	9,263	○	○		○	○	○		流し台(ステンレス)
	佐賀市	10,547	○	○		○	○	○	45	
	長崎市	9,667	○	○		○	○	○		
	熊本市	7,823	○	○		○	○	○		
	大分市	6,534	○	○		○	○	○		
	宮崎県	宮崎市	10,737	○	○		○	○	○	
鹿児島県	鹿児島市	7,638	○	○		○	○	○		流し台(ステンレス)
	那覇市	6,860	○	○		○	○	○		

都道府県	調査対象都市名	空 調 設 備			その他の設備	
		評点数 (点/㎡)	換気備 設	換気扇 (径:φ)		
北海道	札幌市	6,560	○	30	直接暖房設備、レンジフード(ターボ式)	
	旭川市	341		30		
	帯広市	415		30, 20	レンジフード	
	苫小牧市	705		20		
	釧路市	947	○	30		
	旭川市	943		30	レンジフード	
	稚内市	429		20		
茨城県	水戸市	456		30	レンジフード	
	宇都宮市	405		30, 10		
	前橋市	227		30		
	浦和市	346				
	千葉市	391		25, 10		
	特別区	477	○	25		
	横浜市	390	○			
新潟県	新潟市	221		18		
	富山市	380		30		
	金沢市	1,248	○			
	福井市	197		40		
山梨県	甲府市	—			レンジフード	
	長野市	274	○			
	岐阜市	682		25		
	静岡市	391		45		
	名古屋	249		40		
	津市	70		30		
滋賀県	大津市	267		30		
	京都市	242	○	40		
	大阪市	152		25, 18, 14		
	神戸市	239	○			
	奈良市	—				
和歌山県	和歌山市	236		40		
	取根市	188		30		
	松江市	409		5		
	岡山市	369		30		
岡山県	広島市	1,404	○		レンジフード	
	山口市	457		30, 25, 20		
	徳島市	432		40		
徳島県	高松市	741	○		レンジフード	
	松山市	599		20		
	高知市	730		30		
福岡県	北九州市	327	○		レンジフード レンジフード	
	佐賀市	307		25		
	長崎市	312				
	熊本市	597		30		
	大分市	303		25, 12		
	宮崎県	宮崎市	549			25
	鹿児島県	鹿児島市	180			25
沖縄県	那覇市	979		40		

都道府県名	調査対象都市名	防 災 設 備				運 搬 設 備
		評 点 数 (点/㎡)	避 雷 突 針 設 備	火 災 報 知 設 備	そ の 他 の 設 備	採用エレベーター(規格型)・交流型
北海道	札幌市	1,276		○	消火栓設備	1,720
	旭川市	—				—
	帯広市	991		○		3,789
	室蘭市	—				—
	苫小牧市	—				—
青森県	青森市	920		○	—	
	八戸市	—			—	
	五戸市	—			—	
	三戸市	—			—	
	上北町	—			—	
岩手県	盛岡市	1,153	○	○	—	
	大宮市	—			—	
	盛岡市	176	○		3,495	
	滝沢市	—			—	
	奥州市	—			—	
宮城県	仙台市	107	○		2,587	
	仙台市	—			—	
	仙台市	—			—	
	仙台市	—			—	
	仙台市	—			—	
秋田県	秋田市	1,050		○	—	
	秋田市	—			—	
	秋田市	900		○	—	
	秋田市	1,000		○	3,947	
	秋田市	—			—	
山形県	山形市	1,000		○	—	
	山形市	—			—	
	山形市	—			—	
	山形市	—			—	
	山形市	—			—	
長崎県	長崎市	—			—	
	長崎市	—			—	
	長崎市	—			—	
	長崎市	—			2,551	
	長崎市	—			—	
静岡県	静岡市	—			—	
	静岡市	—			—	
	静岡市	—			—	
	静岡市	—			2,551	
	静岡市	—			—	
愛知県	名古屋	—			—	
	名古屋	—			—	
	名古屋	490		○	1,830	
	名古屋	64	○		1,619	
	名古屋	1,000		○	—	
滋賀県	彦根市	—			733	
	彦根市	143	○		3,192	
	彦根市	—			—	
	彦根市	—			—	
	彦根市	—			—	
大阪府	大阪市	810		○	—	
	大阪市	—			—	
	大阪市	—			—	
	大阪市	1,153	○	○	3,840	
	大阪市	—			—	
兵庫県	神戸市	1,020		○	—	
	神戸市	1,010		○	—	
	神戸市	1,030			—	
	神戸市	—			—	
	神戸市	—			—	
徳島県	徳島市	—			—	
	徳島市	—			—	
	徳島市	—			—	
	徳島市	—			—	
	徳島市	—			—	
香川県	高松市	930		○	—	
	高松市	—			—	
	高松市	—			—	
	高松市	—			—	
	高松市	—			—	
愛媛県	高松市	—			—	
	高松市	—			—	
	高松市	—			—	
	高松市	—			—	
	高松市	—			—	
高知県	高松市	—			—	
	高松市	—			—	
	高松市	—			—	
	高松市	—			—	
	高松市	—			—	
福岡県	北九州市	—			—	
	北九州市	930		○	—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
佐賀県	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
熊本県	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
大分県	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
宮崎県	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
鹿児島県	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	
	北九州市	—			—	

(4) 別表4 共同住宅(RC造)に係る施工会社及び販売形態の状況

都道府県名	調査対象都市名	施工(受注)会社		販売形態			
		建設大臣登録	知事登録	分 販		賃 貸	
				民間会社	公社・公団	民間会社	公社・公団
北海道 青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島	札幌市	○		○			
	札幌市	○				○	
	盛岡市	○				○	
	仙台市		○			○	
	秋田市		○			○	
	山形市	○				○	
	福島市	○				○	
	福島市	○				○	
茨城県 栃木 群馬 埼玉県 千葉県 東京都	水戸市	○				○	
	宇都宮市	○				○	
	前橋市		○			○	
	浦和市		○			○	
	和光市		○			○	
東京市	○				○		
中央区	○		○				
新潟県 富山 石川県 福井	新潟市	○				○	
	富山市		○			○	
	金沢市		○			○	
山梨 長野 岐阜 静岡県 愛知県	甲府市	○				○	
	長野市	○	○			○	
	岐阜市	○				○	
	静岡市	○			○	○	
	名古屋市	○			○	○	
滋賀県 京都 大阪 兵庫県 奈良 和歌山	大津市	○				○	
	京都市	○			○		
	大阪市	○			○		
	神戸市	○			○		
	奈良市	○				○	
鳥取 島根 岡山 広島 山口	鳥取市		○			○	
	松江市		○			○	
	岡山市	○		○		○	
徳島 香川県 愛媛 高知県	徳島市		○			○	
	高松市	○				○	
	高知市	○				○	
福岡 佐賀 長門 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄	北九州市	○		○			
	佐賀市	○				○	
	長門市	○				○	
	熊本市	○				○	
	大分市	○				○	
	宮崎市	○				○	
	鹿児島市	○				○	
	那覇市	○				○	

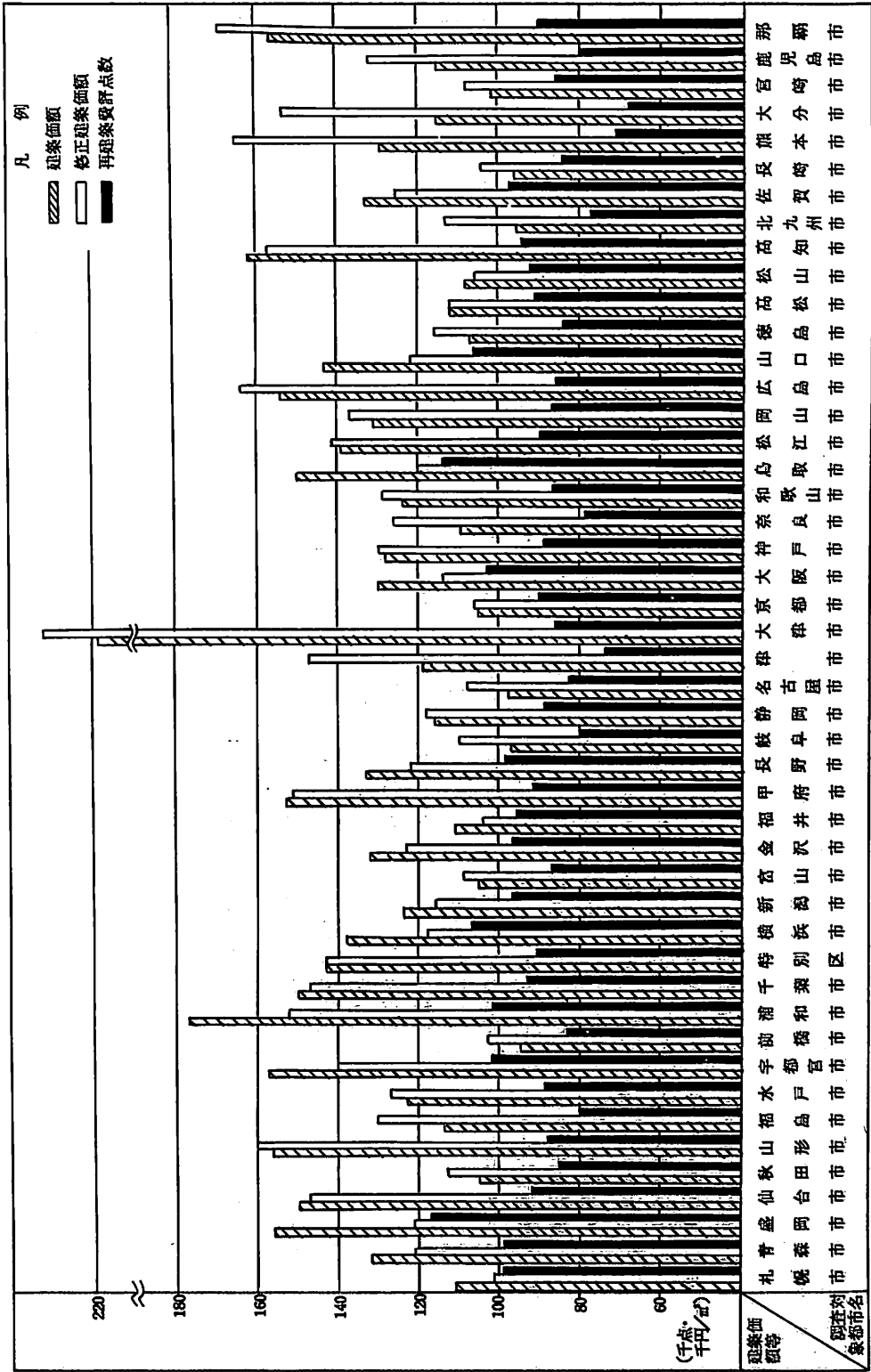
(5) 別表5 主要資材価格の都市別状況

(指数：特別区=100)

都道府県	調査対象都市名	生コン呼び強度180Kg・cm:円/m ²		生コン呼び強度210Kg・cm:円/m ²		指数	鉄筋(SD径19~25mm:円/t)	
		18	21	18	21		指数	指数
北海道	札幌市	14,100	14,300	14,450	14,700	128	46,000	79
	青森市	15,100	15,300	15,450	15,750	137	53,500	91
	岩手市	15,000	15,000	15,000	15,000	133	62,000	106
	宮城県	12,350	12,600	12,800	13,050	113	60,000	103
	秋田市	11,650	11,650	13,400	13,400	119	54,000	92
	山形市	13,000	13,000	13,400	13,400	119	58,800	101
	福島市	-	-	-	13,600	-	60,000	103
茨城県	水戸市	-	-	10,100	10,100	89	60,000	103
	宇都宮市	-	-	11,500	-	102	-	-
	前橋市	8,100	8,100	9,720	9,720	86	48,600	83
	浦和市	-	-	12,350	-	109	59,000	101
	千葉市	-	-	-	12,900	-	60,000	103
	特別区	11,000	11,000	11,300	11,300	100	58,500	100
	横浜市	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	新潟市	13,900	13,900	14,200	14,200	126	62,500	107
	富山市	11,500	11,500	11,700	11,900	104	40,000	68
	金沢市	12,250	-	12,550	12,800	111	-	-
	福井市	12,000	-	12,200	-	108	51,600	88
山梨県	甲府市	11,700	12,000	12,300	12,600	109	56,000	96
	長野市	13,300	13,400	13,500	13,750	119	40,000	68
	岐阜市	14,750	14,750	-	-	-	59,500	102
	静岡市	11,600	-	12,000	-	106	59,500	102
	名古屋市	10,150	10,150	13,850	13,850	123	54,000	92
	三重市	-	-	12,500	-	111	59,000	101
	大津市	-	-	14,600	-	129	-	-
東京都	京都市	13,060	13,060	13,420	13,420	119	55,500	95
	大阪市	13,200	13,200	13,600	13,600	120	39,000	67
	神戸市	14,260	-	-	-	-	54,500	93
	奈良市	11,570	-	11,990	-	106	58,000	99
	和歌山市	10,700	11,100	11,200	11,600	99	45,500	78
	鳥取市	13,800	-	-	14,200	-	62,500	107
	松江市	14,230	14,540	14,710	15,040	130	43,000	74
岡山県	岡山市	13,000	13,250	13,600	13,850	120	58,500	100
	広島市	-	-	13,700	-	121	-	-
	山口市	-	-	13,450	-	119	60,000	103
	徳島市	12,900	13,100	13,300	13,600	118	41,000	70
香川県	高松市	12,230	12,580	12,720	13,120	113	58,500	100
	松山市	13,100	13,480	13,680	14,050	121	-	-
	高知市	-	-	13,100	-	116	58,000	99
福岡県	北九州市	-	-	11,050	11,350	98	54,000	92
	佐賀市	11,300	11,600	11,850	12,200	105	59,000	101
	長崎市	-	10,500	-	11,000	-	46,500	79
	熊本市	14,400	-	-	-	-	58,000	99
	大分市	12,100	-	12,600	12,900	112	59,000	101
	宮崎市	12,500	12,700	12,800	13,000	113	50,000	85
	鹿児島市	-	-	-	12,700	-	62,000	106
沖縄県	那覇市	11,000	-	12,500	-	111	65,000	111
	那覇市	1,507	1,646	1,262	1,358	112	6,969	120
	青森市	15,100	15,300	15,450	15,750	137	65,000	111
	前橋市	8,100	8,100	9,720	9,720	86	39,000	67
平均	12,570	12,680	12,846	13,052	114	54,874	94	

(注) 「生コンクリート」の指数は呼び強度210Kg、スランブ18cmに係るものである。

(6) 別図1 共同住宅(RC造)に係る建築価額等の都市別比較



(7) 調査対象都府県別の部分別仕上げ資材一覧

都府県 (調査対象 都府県)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
北海道 (札幌市)	小口二丁掛タイル (色物) 92% コンクリート打放 (下) 8% <加算> 陶磁器質状吹付 (磁器質米) スタイロホーム	合成樹脂壁紙 (並・無地)72% ラワン合板 11% コンクリート打放 (下) 10% 角タイル(100% 角・色物) 2% 石膏ボード 2% 小口二丁掛タイル (色物) 1% 石綿セメント板 (化粧板) 1% 石綿セメント板 (平板) 1% <加算> 陶磁器質状吹付 (磁器質米) 油性ペイント スタイロホーム グラスウール	ニードルパンチカー ベット 58% 合成樹脂畳(合成樹 脂床) 11% 軟質クッションフロ ア(中) 11% 塩化ビニルタイル (半硬質タイル) 10% ラワン合板 5% コンクリート直仕上 (金ごて仕上) 3% 小口二丁掛タイル (色物) 1% 緑甲板(栓) 1% <加算> 樹脂防水 スタイロホーム コンクリート直仕上 (金ごて仕上) 小口二丁掛タイル (色物)	合成樹脂紙貼 (紙裏) 72% 石膏ボード(着色板) 12% コンクリート打放 (下) 6% ラワン合板 5% 石膏ボード(吸音板) 4% 岩綿板 1% <加算> 陶磁器質状吹付 (磁器質米)	アスファルト防水 (豆砂利押・粒の揃 っているもの)66% アスファルト防水 (露出防水) 33% シート防水(非遊歩 用・塩化ビニル系) 1%	木製・フラッシュ戸 (合成樹脂被覆合板 ・並) 木製・ふすま(並) 鋼製・アングル戸 (85mm) アルミ・サッシュ (スライド式・70%) 普通板ガラス(透明 ・5%) 型板ガラス(4%)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
青森県 (青森市)	合成樹脂板(アクリル) 93% コンクリート打放(中) 7% 〈加算〉 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 断熱吸音材	合成樹脂壁紙(並・無地) 60% コンクリート打放(並) 15% 石膏ボード 15% モルタル(金ごて磨き) 6% 角タイル(100%) 4% 角・色物 〈加算〉 合成樹脂系エマルジョンペンベイント	畳(中) 29% フローリング(アビトン) 21% 特殊モルタル(硬化剤入・並) 20% リノリウム 15% コンクリート直仕上(金ごて仕上) 8% ラワン合板 6% 角タイル(100%) 1% 角・色物 〈加算〉 断熱吸音材	コンクリート打放(並) 79% 石膏ボード(普通板) 21% 〈加算〉 合成樹脂系エマルジョンペンベイント	着色亜鉛鉄板・長沢板瓦葺葺 100% 〈加算〉 断熱吸音材	木製・フラッシュ戸(しな合板) アルミ・サッシュュ(スライド式・60%) 木製・障子(腰付額なし) 型板ガラス(4%)
岩手県 (盛岡市)	陶磁器質吹付(セメント系) 89% 小口二丁掛タイル(色物) 11%	合成樹脂壁紙(並・柄物) 77% ラワン合板 18% 石膏ボード 2% 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 2% モルタル(金ごて磨き) 1%	モルタル(金ごて仕上) 37% 畳(中) 25% 軟質クッションフロア(中) 19% 単板張り合板 13% ラワン合板 5% クリンカータイル(180%角) 1% 〈加算〉 スタイロフォーム	砂壁状セメント系吹付(ひる石系) 48% 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 34% 石膏ボード(吸音板) 8% 石膏ボード(普通板) 5% 合成樹脂貼(紙裏) 5% 〈加算〉	シート防水(非遊歩用・塩化ビニル系) 91% シート防水(遊歩用・塩化ビニル系) 9%	木製・サッシュュ(スライド式・90%) アルミ・サッシュュ(スライド式・60%) 木製・ふすま(並) 木製・フラッシュ戸 普通板ガラス(透明・2%) 型板ガラス(4%)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
宮城県 (仙台市)	陶磁器質状吹付 (磁器質系) 100%	合成樹脂壁紙(並) 無地) 74% ラワン合板 18% 陶磁器質状吹付(磁 器質系) 4% 角タイル(100%角 ・白色) 3% モルタル(はけ引き) 1% <加算> 合成樹脂系ペイント (並)	モザイクパーケット 36% 畳(中) 28% コンクリート直仕上 (金ごて仕上)25% ラワン合板 7% 着色コンクリート床 3% モルタル(金ごて仕 上) 1% <加算> 発泡合成樹脂	モルタル(金ごて仕 上) 合成樹脂紙貼(紙葺) 31% 砂壁状セメント系吹 付(化粧用セメント) 22% 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系)13% 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 9% 木材(杉・ラワン) 7% 石膏ボード(吸音板) 6% ラワン合板 6% 石綿セメント板(普 通板) 6%	アスファルト防水 (モルタル・6層) 41% その他(仕上なし) 59%	木製・フラッシュ戸 (しな合板) 木製・かまち戸(ラ ワン) 鋼製・アングル戸 (85%) 鋼製・フラッシュ戸 (85%) アルミ・サッシュ (スライド式・60 %) アルミ・網戸(合成 樹脂網)網入板ガラ ス(型板・6.8%) 網入板ガラス(磨き 板・6.8%)
秋田県 (秋田市)	コンクリート打放 (並) 100% <加算> 砂壁合成樹脂吹付 (アクリル系)	合成樹脂壁紙(並) 無地) 64% ラワン合板 21% コンクリート打放 (並) 12%	単板張り合板 38% 畳(中) 30% ラワン合板 19% モルタル(金ごて仕 上) 9%	コンクリート打放 (並) 35% 合成樹脂紙貼(紙葺) 31% 石膏ボード(普通板)	アスファルト防水 (露出防水) 42% その他(仕上なし) 58%	木製・フラッシュ戸 (合成樹脂被覆合板 ・並) 木製・ふすま(中) 鋼製・フラッシュ戸

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
山形県 (山形市)	陶磁器質吹付(磁器質系) 93% 小口二丁掛タイル(色物) 7%	モルタル(金ごて磨き) 3% 〈加算〉 砂壁状合成樹脂吹付(ビニル系) 合成樹脂系ペイント(並)	その他(仕上なし) 4% 合成樹脂貼(合成樹脂床) 42% 軟質クッションフロア(中) 26% ラワン合板 10% 着色コンクリート床 9% コンクリート直仕上(金ごて仕上) 7% 角タイル(100%角色物) 6%	石綿セメント板(普通板) 3% ラワン合板 3% 目透天井 46% 石膏ボード(吸音板) 19% 石綿セメント(普通板) 14% 合成樹脂紙貼(紙葺) 11% 石膏ボード(普通板) 10%	シート防水(非遊歩用・塩化ビニル系) 100%	(85%) アルミ・サッシュュ(スライド式・70%) 網入板ガラス(型板・6.8%) 木製・フラッシュ戸(しな合板) 木製・ふすま(並) 鋼製・フラッシュ戸(100%) アルミ・サッシュュ(スライド式・60%) 網入板ガラス(型板・6.8%) 網入板ガラス(磨き板・6.8%)
福島県 (福島市)	砂壁状セメント系吹付(厚付型セメント) 100%	合成樹脂壁紙(並柄物) 59% 砂壁状セメント系吹付(厚付型セメント) 25%	コンクリート直仕上(金ごて仕上) 26% 貼(中) 24% 単板張り合板 17% ニーデルハンチカーベット 10%	木毛セメント板(コンクリート打込) 26% 竿縁天井(一重廻縁) 24%	シート防水(非遊歩用・塩化ビニル系) 63% 塗膜防水(エマルジョン系) 37%	木製・サッシュュ(スライド式・90%) 木製・フラッシュ戸(しな合板) アルミ・サッシュュ(ス)

外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
東京都 (調査対象市)	石膏ボード 13% 角タイル(100%角・色物) 3% 〈加算〉 断熱吸音材	軟質クッションフロア(中) 7% モルタル防水(ケイ酸ソーダ系) 6% ラワン合板 4% シート防水(遊歩用・塩化ビニル系) 3% クリンカータイル(150%角) 3%	石膏ボード(吸音板) 19% 合成樹脂紙貼(紙裏) 14% 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 10% 石綿セメント板(普通板) 4% 石膏ボード(普通板) 3% 〈加算〉 合成樹脂系ペイント(並)		ライド式・70% 網入板ガラス(型板)・6.8%
茨城県 (水戸市)	陶磁器質吹付(磁器質系) 75% モルタル(かき落し) 23% 小口二丁掛タイル(色物) 2%	軟質クッションフロア(中) 45% 畳(中) 27% 合成樹脂塗床(ポリウレタン) 12% ラワン合板 6% モザイクタイル(角型・色物) 3% モルタル(金ごて仕上) 5% コンクリート打放(並) 3% 合成樹脂板(塩化ビニル) 1%	石膏ボード(吸音板) 49% 石膏ボード(着色板) 32% ラワン合板 9% 合成樹脂板(塩化ビニル) 4% 合成樹脂紙貼(紙裏) 2% その他(仕上なし) 4%	アスファルト防水(豆砂利押・粒が不揃いのもの) 80% 洋風瓦(細葉瓦) 20%	木製・フラッシュ戸(合成樹脂被覆合板)・並) 鋼製・フラッシュ戸(85%) アルミ・サッシュ(スライド式・60%) アルミ・かまち戸(70%)

都道府国 (調査対象) 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
栃木県 (宇都宮市)	モルタル(ばけ引き) 11% その他(仕上なし) 89% 〈加算〉 陶磁器質状吹付(磁器質系)	合成樹脂壁紙(並柄物) 69% ラワン合板 16% モルタル(金ごて磨き) 10% 角タイル(100%角・白色) 100% 角・白色) 5% 〈加算〉 陶磁器質状吹付(磁器質系)	角タイル(100%角・白色) 1% 合成樹脂板(塩化ビニル) 1% ニードルパンチカーペット 1%	〈加算〉 現揚調合モルタル吹付 モルタル(金ごて仕上)	着色亜鉛鉄板(平板葺) 97% シート防水(非遊歩用・塩化ビニル系) 3%	木製・フラッシュ戸(しな合板) 木製・ふすま(並) アルミ・サッシュ (スライド式・70%) 鋼製・フラッシュ戸(100%) 網入板ガラス(型板) 網入板ガラス(磨き板)
群馬県 (前橋市)	陶磁器質状吹付(セメント系) 68% 砂壁状合成樹脂吹付	合成樹脂壁紙(並柄物) 85% ラワン合板 13%	軟質クッションフロア(中) 52% モルタル(金ごて仕上) 5%	合成樹脂紙貼(紙葺) 52% 石綿セメント板(普通板) 11% 石膏ボード(吸音板) 5% ラワン合板 2% その他(仕上なし) 30% 〈加算〉 陶磁器質状吹付(磁器質系) 合成樹脂系エマルジョンペイント	アスファルト防水(露出防水) 87% 着色石綿セメント板	木製・サッシュ(スライド式・90%) 木製・ふすま(並)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
東京都	(アクリル系)29% 小口二丁掛タイル (色物) 3%	角タイル(100%角 ・色物) 2%	上) 22% 畳(中) 13% クリンカータイル (180%角) 9% ラワン合板 4%	通板) 22% 石膏ボード(着色板) 13% プリント合板 9% ラワン合板 4% 〈加算〉 色セメント吹付	13% 〈加算〉 断熱吸音材	アルミ・サッシュ (スライド式・70 %) 網入板ガラス (型板) 網入板ガラス(磨き 板)
埼玉県 (浦和市)	陶磁器質状吹付(エ ポキシ樹脂系) 100%	合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 84% ラワン合板 13% 角タイル(100%角・ 色物) 3%	軟質クッションフロ ア(中) 44% 畳(中) 32% じゅうたん(混毛4 %) 18% ラワン合板 6%	石膏ボード(吸音板) 62% 卒緑天井(一重廻縁) 32% ラワン合板 6%	アスファルト防水 (露出防水) 100%	木製・フラッシュ戸 (並) 木製・ふすま(並) 鋼製・フラッシュ戸 (100%) アルミ・サッシュ(ス ライド式・60%) 網入板ガラス(型板) 網入板ガラス(磨き 板)
千葉県 (千葉市)	陶磁器質状吹付(エ ポキシ樹脂系) 100%	合成樹脂壁紙(上・ 柄物) 65% ラワン合板 16% 陶磁器質状吹付(エ ポキシ樹脂系) 9% 合成樹脂系ベイン ト	畳(中) 45% フローリング(なら) 27% ラワン合板 9% 着色コンクリート床 7%	合成樹脂壁紙(布裏) 47% 石膏ボード(着色板) 27% 樹脂入モルタル吹付 13%	アスファルト防水 (モルタル・8層) 27% その他(仕上なし) 73%	木製・フラッシュ戸 (合成樹脂被覆合板 ・並) 木製・ふすま(中) 木製・かまち戸(杉) アルミ・サッシュ(ス

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
東京都 (特別区)	コンクリート打放 (中) 97% モルタル(木ごと磨 き) 3% 〈加算〉 陶磁器質吹付(エ ポキシ樹脂系)	(並) 7% 角タイル(100%角・ 色物) 3% 〈加算〉 断熱吸音材	軟質クッションフロ ア(中) 5% クリンカータイル (150%角) 3% モザイクタイル(角 型・色物) 2% アスファルト防水 (モルタル・6層) 2% 〈加算〉 断熱吸音材	ラワン合板 9% 合成樹脂板(塩化ビ ニル) 4% 〈加算〉 断熱吸音材	アスファルト防水 (露出防水) 100%	ライト式・70% アルミ・網戸(合成 樹脂網) 型板ガラス(4%)
	コンクリート打放 (中) 59% ラワン合板 15% 織壁(中) 13% コンクリート打放 (中) 10% 角タイル(100% 角・色物) 2% 半硬質繊維板 1% 〈加算〉 陶磁器質吹付 (エポキシ樹脂系)	軟質クッションフロ ア(上) 39% じゅうたん(混毛4 %) 28% 畳(中) 21% ラワン合板 8% コンクリート直仕上 (木ごと仕上) 2% モルタル(金ごと仕 上) 1% クリンカータイル (180%角) 1%	合成樹脂紙貼 (紙張) 70% 石膏ボード (着色板) 19% ラワン合板 7% 木毛セメント板 2% ガラス繊維板 1% 岩綿板 1% 〈加算〉 合成樹脂系エマルジ ョンペイント	木製・フラッシュ戸 (しな合板) 木製・ふすま(並) 鋼製・フラッシュ戸 (85%) アルミ・サッシュ(ス ライド式・70%) 普通板ガラス(透明 ・5%) 普通板ガラス(つや 消し・6%)		

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
神奈川県 (横浜市)	陶磁器質吹付(エポキシ樹脂系) 98% 小口二丁掛タイル(色物) 2%	合成樹脂壁紙(並・無地) 79% ラワン合板 13% 角タイル(100%角・白色) 3% 小口二丁掛タイル(色物) 1% その他(仕上なし) 4% 〈加算〉 断熱吸音材 合成樹脂系ペイント(並) 繊維吹付(石綿)	じゅうたん(混毛7%) 40% モルタル防水(ケイ酸ソーダ系) 24% 合成樹脂畳(合成樹脂床) 14% ラワン合板 9% 軟質クッションフロア(中) 8% 塩化ビニルタイル(半硬質タイル) 2% コンクリート直仕上(金ごて仕上) 1% 小口二丁掛タイル(色物) 1% 合成樹脂塗床(エポキシ) 1% 〈加算〉 断熱吸音材	合成樹脂紙貼(紙裏) 49% 石膏ボード(着色板) 12% ラワン合板 4% その他(仕上なし) 35%	アスファルト防水(モルタル・8層) 85% コンクリート直仕上(金ごて仕上) 9% モルタル防水(ケイ酸ソーダ系) 3% アスファルト防水(モルタル・6層) 2% 塗膜防水(保護層なし・合成ゴム系) 1%	木製・フラッシュ戸(しな合板) アルミ・サッシュ(スライド式・70%) アルミ・網戸(合成樹脂網) 型板ガラス(4%)
新潟県 (新潟市)	陶磁器質吹付(磁器質系) 100% 〈加算〉 陶磁器質吹付	合成樹脂壁紙(並・柄物) 83% ラワン合板 7% 陶磁器質吹付	軟質クッションフロア(中) 46% 畳(中) 36% ラワン合板 7%	石膏ボード(吸音板) 46% 卒縁天井(一重煙縁) 36%	アスファルト防水(露出防水) 100%	木製・サッシュ(スライド式・90%) 木製・ふすま(並) 木製・障子(腰付額)

都道府県 (調査対象) 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
富山県 (富山市)	(磁器質系) 陶磁器質吹付 (セメント系)52% 小口二丁掛タイル (色物) 48%	(磁器質系) 5% その他(仕上なし) 5%	モルタル(金ごて仕 上) 6% 着色コンクリート床 1% その他(仕上なし) 4% <加算> モルタル(金ごて仕 上) 角タイル(100% 角・色物)	ラワン合板 7% 石綿セメント板(フ レキシブルボード・ 吸音板) 1% その他(仕上なし) 10% <加算> モルタル(かき落し) アルミニウム板	なし) アルミ・サッシュ (スライド式・70 %) 普通板ガラス(透明 ・5%) 網入板ガラス(型板)	木製・ふすま(並) アルミ・サッシュ(ス ライド式・60%) 普通板ガラス(透明 ・3%) 網入板ガラス(磨き 板・6.8%)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
石川県 (金沢市)	モルタル防水(ケイ酸ソーダ系) 12% 小口二丁掛タイル(色物) 11% モルタル(はけ引き) 2% アスファルト防水(モルタル・8層) 2% その他(仕上なし) 73% <加算> 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 砂壁状セメント系吹付(化粧用セメント) 陶磁器質吹付(セメント系) コンクリートブロック造	合成樹脂壁紙(並柄物) 71% ラワン合板 14% モルタル防水(ケイ酸ソーダ系) 3% 角タイル(100%角・色物) 1% 合成樹脂板(塩化ビニル) 1% モルタル(金ごて磨き) 1% その他(仕上なし) 9% <加算> 陶磁器質吹付(セメント系)	単板張り合板 56% モルタル防水(ケイ酸ソーダ系) 11% 畳(中) 11% 軟質クッションフロア(上) 10% ラワン合板 7% その他(仕上なし) 5%	合成樹脂紙貼(紙葺) 37% 石膏ボード(着色板) 24% 竿縁天井(一重煙縁) 13% ラワン合板 7% 石膏ボード(吸音板) 5% その他(仕上なし) 14% <加算> 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 発泡合成樹脂	アスファルト防水(モルタル・6層) 25% その他(仕上なし) 75%	木製・フラッシュ戸(しな合板) 木製・ふすま(並) 木製・障子(腰付額なし) アルミ・サッシュ(スライド式・70%)
福井県 (福井市)	小口二丁掛タイル(色物) 72% 樹脂入モルタル吹付 28%	合成樹脂壁紙(並柄物) 62% 樹脂入モルタル吹付 25%	リノタイル 23% 畳(中) 23% 軟質クッションフロア(中) 23%	合成樹脂紙貼(紙葺) 45% 石膏ボード(吸音板) 25%	アスファルト防水(モルタル・8層) 100%	木製・ふすま(並) 障子(腰付額なし) アルミ・サッシュ(スライド式・70%)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
山梨県 (甲府市)	モルタル(木ごて磨き) 100% 〈加算〉 樹脂入モルタル吹付	ラワン合板 7% モルタル(金ごて磨き) 1% その他(仕上なし) 5%	じゅうたん(混毛4%) 13% ラワン合板 7% クリンカータイル(180%角) 4% モルタル(金ごて仕上) 1% フローリング(アビトン) 1% その他(仕上なし) 5%	半縁天井 (一重廻縁) 24% モルタル(金ごて仕上) 1% その他(仕上なし) 5%	塗膜防水(モルタル保護層あり・エマールジョン系) 36% その他(仕上なし) 64%	アコーデイオンドア 木製・ふすま(並) 木製・サッシュ(スライド式・90%) アルミ・サッシュ (スライド式・60%) 型板ガラス(2%)
長野県 (長野市)	小口二丁掛タイル(色物) 22% その他(仕上なし) 78%	合成樹脂壁紙(並・無地) 78% ラワン合板 19% 角タイル(100%角) 78%	畳(中) 26% モルタル防水(ケイ酸ソーダ系) 20% 合成樹脂被覆合板	石膏ボード (着色板) 67% 合成樹脂紙貼(紙裏) 23%	着色亜鉄板(折板・0.8%) 30% 塗膜防水(保護層なし・合成ゴム系)	木製・フラッシュ戸(しな合板) 木製・ふすま(並) アルミ・サッシュ

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
岐阜県 (岐阜市)	<加算> 樹脂入モルタル吹付 発泡合成樹脂	3% ・色物 <加算> 断熱吸音材	18% ラワン合板 ニードルパルパンチカー ペット 11% モルタル(金ごて仕 上) 4% 合成樹脂塗床(ポリ ウレタン) 3% 角タイル(100%角 ・色物) 1% <加算> 発泡合成樹脂	9% ラワン合板 石綿セメント板(フ レキシブルボード・ 普通板) 1% <加算> 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系) 合成樹脂吹付 (アクリル系)	9% その他(仕上なし) 61% <加算> 断熱吸音材	(スライド式・70 %) 普通板ガラス(透明 ・3%)
岐阜県 (岐阜市)	陶磁器質吹付 (磁器質系) 100%	合成樹脂被覆合板 (上) 50% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 15% 石膏ボード 10% 角タイル(100% 角・色物) 8% その他(仕上なし) 17% <加算> 陶磁器質吹付(エ ポキシ樹脂系)	モザイクパケット 56% 埴(中) 28% 特殊モルタル(硬化 剤入り・並) 7% ラワン合板 4% モザイクタイル(角 型・色物) 2% モルタル(金ごて仕 上) 1% その他(仕上なし) 2%	47% 石膏ボード (吸音板) 石膏ボード (普通板) 28% 石綿セメント板 (吸音板) 10% 石綿セメント板 (普通板) 4% ラワン合板 4% その他(仕上なし) 7% <加算>	シート防水(非遊歩 用・合成ゴム系) 100%	木製・サッシュ(ス ライド式・90%) アルミ・サッシュ (スライド式・70%) 普通板ガラス(透明 ・3%) 網入板ガラス (型板)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
静岡県 (静岡市)	小口二丁掛タイル (色物) 60% コンクリート打放面 補修 40% <加算> 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 陶磁器質状吹付 (磁器質系)	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 70% コンクリート打放面 補修 10% ラワン合板 5% モルタル(金ごて磨 き) 4% 角タイル(10%角 ・色物) 3% 小口二丁掛タイル (色物) 2% その他(仕上なし) 6% <加算> 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 発泡合成樹脂 陶磁器質状吹付(磁 器質系) 断熱吸音材	ニードルパンチ 46% カーベット 14% 塩化ビニルタイル(半 硬質タイル) 12% 軟質クッションフロ ア(中) 11% コンクリート直仕上 (金ごて仕上) 7% ラワン合板 5% モルタル(金ごて仕 上) 2% 小口二丁掛タイル (色物) 2% その他(仕上なし) 1%	酒精ペイント 樹脂入モルタル吹付 合成樹脂紙貼 (紙裏) 59% 軟質繊維板 (吸音板) 14% 石膏ボード (吸音板) 7% ラワン合板 5% 木毛セメント板 2% モルタル(金ごて仕 上) 2% 岩綿板 2% 石綿セメント板 (普通板) 2% 石膏ボード (普通板) 1% コンクリート打放面 補修 1% その他(仕上なし) 5% <加算> 発泡合成樹脂 合成樹脂系エマルジ	シート防水(遊歩用 ・塩化ビニル系) 60% モルタル防水(エマ ルジョン系) 40%	木製・サッシュ(ス ライド式・90%) 木製・フラッシュ戸 (しな合板) 木製・ふすま(中) 網入板ガラス (型板) 網入板ガラス (磨き板)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
愛知県 (名古屋市)	陶磁器質吹付 (磁器質系) 79% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 17% モザイクタイル(角 型・色物) 4%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 84% ラワン合板 13% 角タイル(100%角 ・色物) 3% 〈加算〉 断熱吸音材	ニードルパンチカー ペット 36% モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系) 18% 合成樹脂畳(合成樹 脂床) 18% ラワン合板 14% 軟質クッションフロ ア(中) 7% 特殊モルタル(アス ファルトモルタル) 7%	ノンベイント 断熱吸音材 繊維壁吹付 35% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 23% 石膏ボード (着色板) 20% 合成樹脂紙貼 (紙葺) 10% フレキシブルボード (普通板) 7% ラワン合板 5% 〈加算〉 吸音断熱材	アスファルト防水 (露出防水) 93% モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系) 7%	木製・サッシュ(ス ライド式・90%) 木製・フラスシユ戸 (しな合板) 木製・ふすま(並) アルミ・サッシュ(ス ライド式・60%) 普通板ガラス(透明 ・5%) 型板ガラス(6%)
三重県 (津市)	陶磁器質吹付 (セメント系) 100%	プラスター(中) 48% 合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 36% 角タイル(100%角 ・白色) 8% モルタル(金ごて磨 き) 5% ラワン合板 3%	畳(中) 36% 軟質クッションフロ ア(中) 35% モルタル(金ごて仕 上) 14% モザイクタイル(角 型・色物) 6% 緑甲板(ラワン) 3%	石葺ボード (吸音板) 38% 目透天井 36% ラワン合板 17% 合成樹脂板(強化ビニ ル) 6% 石膏ボード (普通板) 3%	アスファルト防水 (露出防水) 32% その他(仕上なし) 68%	木製・ふすま(並) アルミ・サッシュ (スライド式・70 %) アルミ・サッシュ (入り出し・60%) アルミ・網戸(合成樹 脂網)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
滋賀県 (大津市)	小口二丁掛タイル (窯変) 100%	合成樹脂壁紙(並・柄物) 83% ラワン合板 8% 合成樹脂系エマルジョンペイント 6% 角タイル(100%角・白色) 3%	ラワン合板 3% クリンカータイル(150%角) 3% 軟質クッションフロア(中) 56% 畳(中) 19% 合成樹脂被覆合板 12% ラワン合板 5% モルタル(金ごて仕上) 5% リノリウム 3%	合成樹脂紙貼(紙裏) 73% 軟質繊維板(塗装吸音板) 19% ラワン合板 5% 耐酸ペイント 3%	着色石綿セメント板 100%	木製・フラッシュ戸(しな合板) 木製・ふすま(並) アルミ(フラッシュ戸・70%) 網入板ガラス(型板)
京都府 (京都市)	砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 58% 小口二丁掛タイル(色物) 42%	合成樹脂壁紙(並・無地) 88% ラワン合板 6% 角タイル(100%角・色物) 3% モルタル(金ごて磨き) 3%	じゅうたん(混毛4%) 50% モルタル(金ごて仕上) 18% 合成樹脂畳(合成樹脂床) 9% 軟質クッションフロア(中) 7% 角タイル(100%角・色物) 6% フローリング(アビ	合成樹脂紙貼(紙裏) 65% 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 31% ラワン合板 2% 岩綿板 1% 合成樹脂系ペイント(並) 1%	アスファルト防水(モルタル・8層) 100% <加算> 断熱吸音材	木製・フラッシュ戸(しな合板) 木製・かまち戸(ラワン) アルミ・サッシュュ(スライド式・70%) アルミ・網戸(合成樹脂網) 網入板ガラス(型板)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
大阪府 (大阪市)	コンクリート打放面 補修 94% モルタル防水(金ご て) 6% <加算> 陶磁器質吹付(磁 器質系)	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 88% ラワン合板 4% コンクリート打放面 補修 3% 角タイル(100% 角・色物) 2% その他(仕上なし) 3% <加算> 陶磁器質系吹付(磁 器質系) 発泡合成樹脂 断熱吸音材	トン) 4% 塩化ビニルタイル (半硬質タイル) 3% ラワン合板 3% ニードルパンチカー ペット 44% モルタル防水(金ご て) 22% 合成樹脂壁(合成樹 脂床) 13% 軟質クッションフロ ア(中) 8% コンクリート直仕上 (金ごて仕上) 6% ラワン合板 3% 角タイル(100% 角・色物) 2% リノリウム 2% <加算> 発泡合成樹脂 耐酸ペイント	合成樹脂紙貼 (紙裏) 61% コンクリート打放面 補修 21% 石膏ボード (着色板) 12% 石膏ボード (普通板) 3% ラワン合板 3% <加算> 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 合成樹脂系ペイント (並) 発泡合成樹脂 断熱吸音材	アスファルト防水 (露出防水) 92% アスファルト防水 (モルタル・8層) 8% <加算> 発泡合成樹脂	木製・フラッシュ戸 (しな合板) 木製・ふすま(並) 鋼製・フラッシュ戸 (100%) アルミ・サッシュ(ス ライト式・70%) 磨き板ガラス (5~6%) 網入板ガラス (6.8%)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
兵庫県 (神戸市)	陶磁器質状吹付(セメント系) 72% 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系)24% 樹脂入モルタル吹付 4%	合成樹脂壁紙(並柄物) 85% ラワン合板 9% 角タイル(100%角・色物) 3% 木毛セメント板 2% その他(仕上なし) 1% <加算> 砂壁状セメント系吹付(ひる石系)	フローリング(なら) 21% じゅうたん(混毛4%) 19% 合成樹脂畳(合成樹脂表) 16% コンクリート直上(金ごて仕上)14% 合成樹脂塗床 11% 軟質クッションフロア(中) 7% ラワン合板 5% 角タイル(100%角・色物) 4% モルタル(金ごて仕上) 3%	合成樹脂紙貼(紙葺) 61% 石膏ボード(着色板) 21% ラワン合板 6% 木毛セメント板 2% 岩綿板 2% 石綿セメント板(普通板) 1% その他(仕上なし) 7% <加算> 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系)	アスファルト防水(モルタル・8層) 76% アスファルト防水(露出防水) 24%	木製・フラッシュ戸(並) 17% 木製・ふすま(並) 32% 鋼製・フラッシュ戸(85%) 14% アルミ・サッシュ(スライド式・70%) 網入板ガラス(型板)
奈良県 (奈良市)	陶磁器質状吹付(磁器質系) 100%	合成樹脂壁紙(並無地) 90% ラワン合板 6% その他(仕上なし) 4% <加算> 織維吹付(岩綿)	合成樹脂畳(合成樹脂床) 26% じゅうたん(混毛7%) 26% じゅうたん(混毛4%) 22% 軟質クッションフロア(中) 13%	合成樹脂紙貼(紙葺) 64% プリント合板 26% ラワン合板 6% その他(仕上なし) 4% <加算> 織維吹付(岩綿)	アスファルト防水(露出防水) 20% その他(仕上なし) 80%	木製・フラッシュ戸(しな合板) 木製・ふすま(並) アルミ・サッシュ(スライド式・70%) 普通板ガラス(透明) 5%

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
和歌山県 (和歌山市)	樹脂入モルタル吹付 80% 小口二丁掛タイル (色物) 20%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 78% モルタル(金ごて磨 き) 9% ラワン合板 8% 角タイル(100% 角・色物) 5% 〈加算〉 合成樹脂系エマルジ ョンペイント	ラワン合板 6% クリンカータイル (150%角) 2% モルタル(金ごて仕 上) 1% 塩化ビニルタイル (ビュアタイル) 1% その他(仕上なし) 3%	合成樹脂紙貼 (布葺) 66% 石膏ボード (普通板) 16% 合成樹脂板(塩化ビ ニル) 10% ラワン合板 8% 〈加算〉 合成樹脂系エマルジ ョンペイント	アスファルト防水 (モルタル・8層) 19% その他(仕上なし) 81%	型板ガラス(4%) 網入板ガラス(型板 ・6.8%) 木製・板戸(ラワン 合板) 木製・ふすま(並) 木製・フラッシュ戸 アルミ・サッシ (スライド式・100 %) アルミ・サッシ (スライド式・70 %)
鳥取県 (鳥取市)	コンクリート打放 (並) 100% 〈加算〉 砂壁状合成樹脂吹付	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 59% コンクリート打放 (並) 18%	軟質クッションフロ ア(中) 38% モルタル(金ごて仕 上) 11% ラワン合板 8% モザイクタイル(角 型・色物) 5% 角タイル(100% 角・色物) 5%	卒緑天井 (一重廻縁) 27% 石綿セメント板 (普通板) 21%	シート防水(非遊歩 用・合成ゴム系) 83% ステンレス板(瓦葺)	木製・ふすま(並) 木製・フラッシュ戸 (しな合板) アルミ・サッシ

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
島根県 (松江市)	(アクリル系) 陶磁器質状吹付(磁器質系)	ラワン合板 16% 石膏ボード 5% 角タイル(100% 角・色物) 2% 〈加算〉 陶磁器質状吹付(磁器質系) 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系)	リート 22% ラワン合板 5% コンクリート(金ごて仕上) 2% クリンカータイル(150%角) 2% モルタル防水(ケイ酸ソーダ系) 2% ニードルパンチカーペット 1%	コンクリート打放(中) 19% 岩綿板 19% ラワン合板 5% 合成樹脂板(塩化ビニル) 5% 石膏ボード(吸音板) 3% アルミニウム板(成型板・中) 1% 〈加算〉 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 繊維吹付(岩綿)	葺・0.8%) 17%	(スライド式・60%) 型板ガラス(4%)
島根県 (松江市)	モルタル(はけ引き) 100% 〈加算〉 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系)	合成樹脂壁紙(並柄物) 76% 石膏ボード 17% 角タイル(100% 角・色物) 7%	モザイクパーケット 38% 畳(上) 33% モルタル(金ごて仕上) 22% ラワン合板 7%	石膏ボード(普通板) 43% 合成樹脂紙貼(紙葺) 29% 石膏ボード(吸音板) 17% モルタル(金ごて仕上) 7% 合成樹脂板(塩化ビニル) 4%	シート防水(非遊歩用・塩化ビニル系) 100%	木製・ふすま(並) 木製・障子(腰付額なし) アルミ・サッシュユ (スライド式・70%) 普通板ガラス(透明・3%)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
岡山県 (岡山市)	小口二丁掛タイル (色物) 83% 陶磁器質状吹付(磁 器質系) 17%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 97% ラワン合板 2% 角タイル(100% 角・色物) 1%	ニードルパンチカー ベット 54% 硬質クッションフロ ア(中) 19% 畳(中) 14% 塩化ビニルタイル (半硬質タイル) 8% ラワン合板 5%	合成樹脂紙貼 (紙葺) 73% 石膏ボード (普通板) 14% 砂壁状合成樹脂吹付 (ビニル系) 8% ラワン合板 5%	アスファルト防水 (露出防水) 73% アスファルト防水 (モルタル・8層) 27%	木製・ふすま(並) 木製・フ راشジュ戸 (しな合板) アルミ・サッシュ (スライド式・60 %) 磨き板ガラス(5~ 6%)
広島県 (広島市)	陶磁器質状吹付 (セメント系)98% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 2%	合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 74% ラワン合板 13% モザイクタイル(角 型・白色) 8% 小口二丁掛タイル (色物) 5%	モザイクパケッ ト 39% 畳(中) 24% モルタル防水(エマ ルジョン系) 23% ラワン合板 5% 軟質クッションフロ ア(中) 4% モザイクタイル(角 型・色物) 3% クリンカータイル (150%角) 2%	合成樹脂紙貼 (紙葺) 69% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系)23% ラワン合板 5% 合成樹脂板(塩化ビ ニル) 3%	アスファルト防水 (モルタル・6層) 90% 着色石綿セメント板 10%	板戸(ラワン合板) 木製・ふすま(並) 鋼製・フ راشジュ戸 (85%) 鋼製・アングル戸 (85%)
山口県 (山口市)	陶磁器質状吹付(磁 器質系) 58%	合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 70%	モルタル(金こて仕 上) 30%	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系)42%	アスファルト防水 (露出防水) 94%	木製・サッシュ(ス ライド式・90%)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
徳島県 (徳島市)	小口二丁掛タイル (色物) 42%	角タイル(100%) 角・色物) 12% 陶磁器質状吹付(磁 器質系) 11% ラワン合板 7%	ニードルパンチカー ベット 22% 畳(中) 16% フロアリング (なら) 15% 軟質クッションフロ ア(中) 5% 着色コンクリート床 4% クリンカータイル (180%角) 3% ラワン合板 3% コンクリート直仕上 (金ごて仕上) 1% モザイクパーケット 1%	陶磁器質状吹付(磁 器質系) 30% 石膏ボード (吸音板) 13% 合成樹脂紙貼 (紙裏) 11% ラワン合板 3% プリント合板 1%	モルタル防水(けい 酸ソーダ系) 6%	木製・ふすま(並) 木製・フラッシュ戸 (しな合板) アルミ・サッシュ (スライド式・60 %) 普通板ガラス(透明 ・5%)
徳島県 (徳島市)	陶磁器質状吹付 (エポキシ樹脂系) 70% その他(仕上なし) 30%	繊維壁(上) 35% プラスチック(上) 25% ラワン合板 14% 角タイル(100%) 角・白色) 13% 合成樹脂被覆合板 (並) 10%	畳(中) 36% フロアリング(アビ トン) 26% コンクリート直仕上 (金ごて仕上) 22% ラワン合板 8% モザイクタイル(角 型・色物) 6%	竿縁天井 (一重廻縁) 36% 岩綿板 26% モルタル (かき落し) 22% ラワン合板 8% 合成樹脂被覆合板 (並) 8%	着色石綿セメント板 61% その他(仕上なし) 39%	木製・ふすま(並) 木製・フラッシュ戸 (しな合板) アルミ・サッシュ (スライド式・60 %) 型板ガラス(4%)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	器具
香川県 (高松市)	コンクリート打放面 補修 87% モザイクタイル(角 型・色物) 13% 〈加算〉 陶磁器質吹付(ア クリル系)	その他(仕上なし) 3% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 77% ラワン合板 15% コンクリート打放 (並) 4% モザイクタイル(角 型・色物) 3% 角タイル(100% 角・色物) 1% 〈加算〉 砂壁状合成樹脂吹付 アクリル系)	クリンカータイル (180%角) 2% モルタル(金ごて仕 上) 23% ニードルパンチカー ペット 23% 軟質クッションフロ ア(中) 21% 合成樹脂(合成樹 脂床) 18% ラワン合板 8% 角タイル(100% 角・色物) 7% 合成樹脂壁紙(普 通板) 1% 岩綿板 1% 〈加算〉 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系)	合成樹脂壁紙: (紙裏) 41% 石膏ボード (普通板) 39% 合成樹脂被覆合板 (並) 18% 石綿セメント板(普 通板) 1% 岩綿板 1% 〈加算〉 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系)	シート防水(非遊歩 用・塩化ビニル系) 100% 〈加算〉 特殊ペイント(防水 塗料)	木製・フラッシュ戸 (合成樹脂被覆合板 ・並) 木製・ふすま(並) アルミ・サッシュ (スライド式・60 %) 磨き板ガラス(5~ 6%)
愛媛県 (松山市)	小口二丁掛タイル (白色) 22% その他(仕上なし) 78% 〈加算〉 陶磁器質吹付(エ ポキシ樹脂系)	合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 84% モルタル(金ごて磨 き) 11% ラワン合板 3% 角タイル(100% 角・色物) 2% 〈加算〉 砂壁状合成樹脂吹付 アクリル系)	皿(中) 30% アスファルトタイル (暗色) 22% 単板張り合板 16% じゅうたん(混毛4 %) 13% ラワン合板 8% クリンカータイル (180%角) 5%	プリント合板 42% 岩綿板 24% 合成樹脂紙貼 (紙裏) 20% ラワン合板 9% 石膏ボード (普通板) 5% 〈加算〉 砂壁状セメント系吹 付	厚型スレート 34% その他(仕上なし) 66%	木製・フラッシュ戸 (しな合板) 木製・ふすま(並) 木製・障子(腰付額 なし) 網入板ガラス(型板) 網入板ガラス(磨き 板)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
高知県 (高知市)	コンクリート打放 (中) 100% 〈加算〉 樹脂入モルタル吹付	(アクリル系) 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 75% コンクリート打放 (並) 15% 石膏ボード 7% 角タイル(100% 角・色物) 2% モザイクタイル(角 型・色物) 1% 〈加算〉 特殊ペイント(多彩 塗料)	モルタル(木ごて仕 上げ) 3% フローリング (なら) 3% 塩化ビニルタイル (軟質タイル) 33% プリント合板 27% 壁(中) 21% モルタル(金ごて仕 上げ) 7% 軟質クッションフロ ア(中) 6% ラワン合板 3% クリンカータイル (150%角) 2% モザイクタイル(角 型・色物) 1%	付(ひる石系) コンクリート打放 (並) 57% 竿縁天井 (一重廻縁) 21% 石膏ボード (普通板) 13% 合成樹脂壁紙 (紙張) 5% ラワン合板 3% 合成樹脂板(塩化ビ ニル 1% 〈加算〉 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系)	アスファルト防水 (豆砂利押・粒が不 揃いのもの) 100%	木製・ふすま(中) アルミ・サッシュ (スライド式・60 %) 型板ガラス(4%) 磨き板ガラス(5~ 6%)
福岡県 (北九州市)	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 50% モルタル(金ごて仕 上) 20% 陶磁器質吹付(セ ル)	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 74% ラワン合板 19% モルタル (はけ引き) 3%	合成樹脂畳(合成樹 脂床) 29% 軟質クッションフロ ア(中) 18% ニードルパンチカー	合成樹脂壁紙 (紙張) 42% プリント合板 38% 半硬質繊維板(吸音 板) 10%	着色石綿セメント板 77% シート防水(非遊歩 用・合成ゴム系) 23%	木製・ふすま(並) 板戸(ラワン合板) アルミ・サッシュ (スライド式・60 %)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
佐賀県 (佐賀市)	メント系) 17% モルタル (はけ引き) 13% <加算> 合成樹脂系ペイント (並)	角タイル(100% 角・色物) 2% 石膏ボード 2% <加算> 断熱吸音材	ベット 16% モルタル(金ごて仕 上) 9% ラワン合板 9% 着色コンクリート床 7% フローリング(アビ トン) 5% 緑甲板(ラワン) 4% 角タイル(100% 角・色物) 3%	ラワン合板 7% 石膏ボード (普通板) 3% <加算> 断熱吸音材		アルミ・網戸(合成 樹脂網) 普通板ガラス (5%)
佐賀県 (佐賀市)	陶磁器状吹付(セ メント系) 97% モルタル(金ごて仕 上) 3%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 96% 角タイル(100% 角・色物) 4%	じゅうたん(混毛4 %) 49% コンクリート直仕上 (金ごて仕上) 21% 軟質クッションフロ ア(中) 13% 畳(中) 12% ラワン合板 3% 角タイル(75%角 ・色物) 1% モルタル(金ごて仕 上) 1%	合成樹脂紙貼 (紙裏) 58% 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系) 24% 石膏ボード (吸音板) 11% 石綿セメント板(普 通板) 7%	シート防水(非遊歩 用・合成ゴム系) 100%	木製・フラッシュ戸 (しな合板) 木製・ふすま(並) アルミ・サッシュ (スライド式・60 %) 網入板ガラス (型板) 網入板ガラス (磨き板)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
長崎県 (長崎市)	小口二丁掛タイル (色物) 65% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 35%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 75% 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系)12% ラワン合板 7% 角タイル(100%角 ・白色) 5% 小口二丁掛タイル (色物) 1%	軟質クッションフロ ア(上) 33% 畳(中) 29% じゅうたん(混毛4 %) 15% モルタル(金ごて仕 上) 12% ラワン合板 7% 単板張り合板 3% 角タイル(100%角 ・色物) 1%	合成樹脂紙貼 (紙裏) 80% 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系)12% ラワン合板 7% 岩綿板 1%	シート防水(非遊歩 用・合成ゴム系) 20% アスファルト防水 (モルタル・8層) 6% その他(仕上なし) 74%	木製・フラッシュ戸 (しな合板) 木製・ふすま(並) アルミ・サッシュ (スライド式・70 %) アルミ・網戸(合成 樹脂網) 普通板ガラス(透明 ・5%)
熊本県 (熊本市)	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 100%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 50% 石膏ボード 18% ラワン合板 15% 角タイル(100%角 ・色物) 8% モルタル(金ごて磨 き) 6% 石綿セメント板(フ レキシブル板) 3% <加算> 合成樹脂系エマールジ ョンペイント	畳(中) 35% フローリング(アビ トン) 29% モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系) 10% モルタル(金ごて仕 上) 8% ラワン合板 7% 軟質クッションフロ ア(中) 6% その他(仕上なし) 5%	砂壁状セメント吹付 (ひる石系) 52% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系)18% 単板張り合板 8% ラワン合板 7% 半硬質繊維板(塗装 吸音板) 6% 石綿セメント板(フ レキシブルボード・ 普通板) 4% その他(仕上なし) 5%	アスファルト防水 (露出防水)100%	木製・板戸(ラワン 合板) 木製・フラッシュ戸 (しな合板) 鋼製・フラッシュ戸 (85%) アルミ・サッシュ (スライド式・60 %) 普通板ガラス(透明 ・3%) 型板ガラス(4%)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
大分県 (大分市)	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 100%	特殊ペイント(多彩塗料) 合成樹脂壁紙(並・無地) 36% ラワン合板 19% 石葺ボード 16% 砂壁状セメント系吹付(ひる石系) 13% 角タイル(100%角・白色) 8% 小口二丁掛タイル(白色) 3% 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 3% モルタル(金ごて磨き) 2%	フローリング(アビトン) 33% 合成樹脂畳(合成樹脂床) 31% ラワン合板 9% 合成樹脂塗床(ポリウレタン) 8% モルタル(金ごて仕上) 7% モザイクタイル(角型・色物) 7% 緑甲板(ラワン) 5%	砂壁状セメント系吹付(ひる石系) 79% ラワン合板 9% 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 7% 石綿セメント板 5%	アスファルト防水(モルタル・6層) 21% その他(仕上なし) 79%	木製・サッシュ(スライド式・90%) 木製・ふすま(並) アルミ・サッシュ(スライド式・60%) アルミ・網戸(合成樹脂網) 型板ガラス(2%) 磨き板ガラス(5~6%)
宮崎県 (宮崎市)	陶磁器質吹付 (セメント系) 100%	合成樹脂壁紙(並・無地) 69% ラワン合板 11% 陶磁器質吹付(エポキシ樹脂系) 6% モルタル(はけ引き) 3%	単板張り合板 50% 畳(中) 28% モルタル(金ごて仕上) 7% ラワン合板 5% 塩化ビニルタイル(軟質タイル) 3%	軟質繊維板(吸音板) 34% 竿縁天井(一重廻縁) 29% 石膏ボード(吸音板) 24% 樹脂入モルタル吹付	アスファルト防水(モルタル・8層) 100%	木製・かまち戸(ラワン) 木製・ふすま(並) 鋼製・フ راشジュ戸(85%) アルミ・サッシュ(スライド式・60%)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
鹿見島県 (鹿見島市)	モルタル (はけ引き)100% 〈加算〉 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系)	その他(仕上なし) 11% 合成樹脂被覆合板 (並) 51% モルタル(金ごて磨 き) 28% ラワン合板 13% コンクリート打放 (並) 8% 〈加算〉 合成樹脂系エマルジ ョンペイント)	その他(仕上なし) 7% 昼(中) 64% 単板張り合板 17% ラワン合板 8% モザイクタイル(丸 型・色物) 6% 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 3% 合成樹脂塗床(ポリ ウレタン) 2%	その他(仕上なし) 1% 12% 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系)70% プリント合板 15% ラワン合板 8% 石綿セメント板(フ レキシブルボード・ 普通板) 3% 合成樹脂系エマルジ ョンペイント) 3% 木毛セメント板(コ ンクリート打込) 1%	モルタル防水(エマ ルジョン系) 26% その他(仕上なし) 74%	網入板ガラス(型板) 普通板ガラス(つや 消し・3%) 木製・ふすま(並) アルミ・サッシュ (スライド式・70 %) アルミ・網戸(合成 樹脂網) 普通板ガラス(透明 ・5%)
沖縄県 (那覇市)	陶磁器質状吹付(磁 器質系) 100%	単板張り合板 75% 角タイル(100%角 ・色物) 11% ラワン合板 9% モルタル(金ごて磨 き) 5% 〈加算〉 油性ペイント	合成樹脂被覆合板 70% 昼(中) 18% モザイクタイル(角 型・色物) 7% ラワン合板 3% 角タイル(100%角 ・色物) 2%	岩綿板 72% 合成樹脂被覆合板 (並) 18% 合成樹脂板(塩化ビ ニル) 7% ラワン合板 3%	シート防水(遊歩用 ・塩化ビニル系) 33% その他(仕上なし) 67%	木製・ふすま(並) 木製・フラスシュ (しな合板) アルミ・サッシュ (スライド式・100%) 普通板ガラス(透明 ・6%)

IV. 参考資料

1. 主要建築資材の卸売物価指数

品目	昭和55年1月 (A)	昭和57年1月 (B)	昭和58年1月 (C)	昭和59年1月 (D)	昭和60年1月 (E)	(B) / (A)	(C) / (A)	(D) / (A)	(E) / (A)
丸太類	101.5	85.5	83.5	76.6	75.6	0.84	0.82	0.75	0.75
じゅうたん	91.7	99.3	98.6	98.6	98.6	1.08	1.08	1.08	1.08
タフテットカーペット	92.6	96.7	90.3	83.1	80.7	1.04	0.98	0.90	0.87
角材	109.5	83.7	82.8	73.3	75.4	0.76	0.76	0.67	0.69
ひき割材	108.3	83.2	82.1	73.5	75.5	0.77	0.76	0.68	0.70
板材	97.1	91.3	88.1	79.2	84.6	0.94	0.91	0.82	0.87
普通合板	106.9	86.9	81.2	77.0	75.4	0.81	0.76	0.72	0.71
特殊合板	95.1	88.7	92.1	89.2	89.0	0.93	0.97	0.94	0.94
フローリングボード	98.9	88.6	89.4	85.4	89.3	0.90	0.90	0.86	0.90
合板フロアー	96.0	88.6	89.9	90.2	86.3	0.92	0.94	0.94	0.90
パーティクルボード	87.7	88.7	89.9	87.3	84.6	1.01	1.03	1.00	0.97
ファイバーボード	93.6	98.6	99.2	97.9	98.6	1.05	1.06	1.05	1.05
木製ドア	95.4	93.2	87.3	89.0	88.5	0.98	0.92	0.93	0.93
ガラス戸	93.0	103.6	94.9	105.2	104.0	1.11	1.02	1.13	1.12
障子	96.0	92.5	88.6	82.2	81.0	0.96	0.92	0.86	0.84
ふすま戸	96.9	99.1	103.5	107.4	105.9	1.02	1.07	1.11	1.09
アスファルト塗工紙	92.3	90.3	99.8	96.9	100.2	0.98	1.08	1.05	1.09
軽量形鋼棒	96.2	92.4	87.2	94.8	91.5	0.96	0.91	0.99	0.95
亜鉛鉄板	103.7	77.4	82.4	81.2	87.6	0.75	0.79	0.78	0.84
亜鉛系表面処理鋼板	92.5	101.9	105.0	104.4	104.7	1.10	1.14	1.13	1.13
ステンレス鋼板	93.8	102.2	107.2	107.4	107.0	1.09	1.14	1.14	1.14
銅板	90.7	96.9	95.6	94.4	95.5	1.07	1.05	1.04	1.05
アルミニウム板	103.9	78.7	77.4	80.4	82.4	0.76	0.74	0.77	0.79
アルミニウム合金板	85.7	94.6	95.3	101.2	93.5	1.10	1.11	1.18	1.09
アルミニウムサッシュ	89.6	91.4	93.3	104.3	94.4	1.02	1.04	1.16	1.05
アルミニウムサッシュ	90.8	97.6	97.2	107.9	107.4	1.07	1.07	1.19	1.18
スチールサッシュ	96.0	104.2	106.4	110.8	113.8	1.09	1.11	1.17	1.19
アルミニウムドア	94.4	99.8	99.2	110.8	108.1	1.06	1.05	1.17	1.15
スチールドア	96.1	104.1	105.5	110.9	113.6	1.08	1.10	1.15	1.18
シャッター	95.8	109.4	112.0	110.4	109.0	1.15	1.18	1.16	1.14
建具用取付具	96.0	100.6	100.6	102.0	104.7	1.05	1.05	1.06	1.09

品 目	昭和55 年1月 (A)	昭和57 年1月 (B)	昭和58 年1月 (C)	昭和59 年1月 (D)	昭和60 年1月 (E)	(B) / (A)	(C) / (A)	(D) / (A)	(E) / (A)
ポ ル ト	93.6	95.6	93.6	96.0	96.3	1.02	1.00	1.03	1.03
く ぎ	94.7	93.0	89.7	92.8	89.7	0.98	0.95	0.97	0.95
金 網	95.6	89.8	87.5	90.8	90.8	0.94	0.92	0.95	0.95
プラスチック板	93.8	98.2	96.4	103.2	102.0	1.05	1.03	1.10	1.09
プラスチックシート	94.6	100.0	98.2	98.2	98.2	1.06	1.04	1.04	1.04
プラスチック化粧板	85.7	100.1	103.2	101.6	105.6	1.17	1.20	1.19	1.23
プラスチックタイル	97.6	102.7	102.5	93.7	95.1	1.05	1.05	0.96	0.97
プラスチック発泡製品	92.7	93.6	91.8	93.6	92.8	1.01	0.99	1.01	1.00
油性塗料	92.2	103.0	103.5	103.5	103.5	1.12	1.12	1.12	1.12
ラ ッ カ ー	93.7	104.3	104.4	104.4	104.4	1.11	1.11	1.11	1.11
合成樹脂塗料	94.0	103.8	103.8	103.8	101.9	1.10	1.10	1.10	1.08
合成ゴム	88.9	108.0	109.4	109.4	109.4	1.21	1.23	1.23	1.23
アスファルト	81.8	133.5	108.9	104.7	118.0	1.63	1.33	1.28	1.44
普通板ガラス	96.9	108.2	121.4	121.4	121.4	1.12	1.25	1.25	1.25
型板ガラス	95.8	111.9	119.3	119.3	119.3	1.17	1.25	1.25	1.25
ガラス短繊維製品	93.4	110.2	109.1	107.4	107.4	1.18	1.17	1.15	1.15
セメント	84.2	106.3	105.4	105.4	105.4	1.26	0.99	0.99	1.25
生コンクリート	91.2	100.7	100.7	100.7	92.8	1.10	1.10	1.10	1.02
石綿セメント板	95.4	101.3	101.3	103.6	103.6	1.06	1.06	1.09	1.09
波形石綿スレート	92.5	101.1	101.1	100.0	100.0	1.09	1.09	1.08	1.08
セメントかわら	88.6	101.8	101.8	101.8	101.8	1.15	1.15	1.15	1.15
厚形スレート	86.1	103.0	103.0	103.0	103.0	1.20	1.20	1.20	1.20
軽量気泡コンクリート	95.6	97.8	96.7	96.7	99.3	1.02	1.01	1.01	1.04
粘土かわら	89.8	93.0	101.2	101.2	101.2	1.04	1.13	1.13	1.13
衛生陶器	91.9	102.9	108.5	108.5	108.5	1.12	1.18	1.18	1.18
タ イ ル	93.4	111.0	111.0	111.0	111.0	1.19	1.19	1.19	1.19
石こうボード	96.4	108.0	119.9	107.6	106.9	1.12	1.24	1.12	1.11
割 く り 石	100.0	99.5	90.4	91.4	91.4	1.00	0.90	0.91	1.00
砂	98.3	100.3	90.5	88.3	88.3	1.02	0.92	0.90	1.00
畳 床	82.8	93.5	94.9	96.5	97.4	1.14	1.15	1.17	1.18
畳 表	107.9	96.1	123.2	112.2	121.6	0.89	1.14	1.04	1.13

「昭和60年基準卸売物価指数」(日本銀行調)

2. 都道府県別鉄筋コンクリート造居住専用建物の工事予定単価(昭和58~60年)

(工事費予定額単位:円, 指数:東京都=100)

都道府県名	昭和58年		昭和59年		昭和60年	
	1㎡当たり予定額	指数	1㎡当たり予定額	指数	1㎡当たり予定額	指数
北海道	118,202	74.7	116,747	72.9	11,652	70.3
青森	136,889	86.5	218,353	136.3	13,089	79.0
岩手	122,290	77.3	127,172	79.4	11,478	69.2
宮城	129,422	81.8	129,258	80.7	12,667	76.4
秋田	129,562	81.9	121,565	75.9	13,722	82.8
山形	123,249	77.9	123,134	76.9	12,289	74.1
福島	116,981	73.9	124,207	77.5	11,939	72.0
茨城	133,743	84.5	134,051	83.7	12,935	78.0
栃木	140,922	89.1	128,806	80.4	12,307	74.2
群馬	121,636	76.9	124,697	77.8	11,862	71.6
埼玉	130,987	82.8	133,346	83.2	13,843	83.5
千葉	132,959	84.0	131,067	81.8	13,694	82.6
東京都	158,248	100.0	160,197	100.0	16,577	100.0
神奈川県	147,280	93.1	145,176	90.6	15,016	90.6
新潟	138,399	87.5	138,764	86.6	14,098	85.0
富山	131,758	83.3	124,317	77.6	12,870	77.6
石川	131,794	83.3	133,573	83.4	13,650	82.3
福井	125,494	79.3	126,229	78.8	12,366	74.6
山梨	120,630	76.2	128,043	79.9	11,682	70.5
長野	138,585	87.6	133,324	83.2	13,423	81.0
岐阜	115,746	73.1	120,958	75.5	12,140	73.2
静岡県	125,634	79.4	127,557	79.6	13,018	78.5
愛知県	120,881	76.4	118,558	74.0	11,961	72.2
三重	127,057	80.4	124,440	77.7	12,308	74.2
滋賀	123,641	78.1	131,365	82.0	12,842	77.5
京都	126,471	79.9	132,182	82.5	12,615	76.1
大阪	129,409	81.8	131,482	82.1	13,433	81.0
兵庫県	131,776	83.3	128,429	80.2	13,286	80.1
奈良	129,841	82.0	130,215	81.2	12,504	75.4
和歌山	127,337	80.5	125,313	78.2	12,925	78.0
鳥取	125,974	79.6	125,822	78.5	11,150	67.3
島根	118,966	75.2	122,654	76.6	12,284	74.1
岡山	124,083	78.4	125,724	78.5	12,575	75.9
広島	126,043	79.6	125,743	78.5	12,628	76.2
山口	118,989	75.2	122,459	76.4	11,995	72.4
徳島	113,778	71.9	115,979	72.4	12,126	73.1
香川	120,954	76.4	126,176	78.8	11,953	72.1
愛媛	115,405	72.9	110,893	69.2	10,946	66.0
高知	129,432	81.8	122,328	76.4	11,837	71.4
福岡	111,293	70.3	114,012	71.2	11,446	69.0
佐賀	110,062	69.6	115,159	71.9	12,789	77.1
長崎	116,014	73.3	115,306	72.6	11,419	68.9
熊本	112,319	71.0	106,416	66.4	10,853	65.5
大分	106,217	67.1	107,469	67.1	10,803	65.2
宮崎	104,800	66.2	106,277	66.3	10,163	61.3
鹿児島	114,842	72.6	110,671	69.1	11,213	67.6
沖縄	134,837	85.2	132,386	82.6	12,521	75.5
(平均)	125,337	79.2	127,191	79.4	12,487	75.3

(建設省「建築統計年報」より)



